



九州大学  
KYUSHU UNIVERSITY

Flap to the world

# 2024・25

ANNUAL REPORT



ROBERT T. HUANG ENTREPRENEURSHIP CENTER OF KYUSHU UNIVERSITY

新たな価値の創造に挑み続ける。

九州大学 ロバート・ファン/  
アントレプレナーシップ・センター (QREC)

〒819-0395 福岡市西区元岡744 センター5号館7階  
TEL:092-802-6060 FAX:092-802-6065  
URL:https://qrec.kyushu-u.ac.jp  
E-mail:info@qrec.kyushu-u.ac.jp

QREC  
公式SNSは  
こちらから



九州大学 ロバート・ファン / アントレプレナーシップ・センター (QREC) アニュアルレポート 2024-2025





ROBERT T. HUANG  
ENTREPRENEURSHIP CENTER  
OF KYUSHU UNIVERSITY

# FOCUS ON

THINK GLOBAL ACT LOCAL

QRECでは、九州大学の全学学生を対象として、先進的で体系的なアントレプレナーシップ教育を行うとともに、同教育において定評のある国内外の大学等との連携を構築し、教育・研究活動を行っています。



Dr. ROBERT T. HUANG

シネックス・コーポレーション創業者、前会長  
九州大学 名誉博士

九州大学 ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター(以下QREC)は、本学卒業後渡米し、大成功をおさめたロバート・ファン博士の本学百周年記念寄附をきっかけに、旧ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーを抜本的に改組・再構築して2010年12月に設立されたアントレプレナーシップに関する本格的な教育・研究センターです。

## CONTENTS

- 1 **FOCUS ON**  
AN OVERVIEW OF QREC
  - 00 / QREC概要
  - 02 / 沿革
  - 04 / 使命
  - 05 / 活動内容
  - 06 / QREC教育プログラム
  - 07 / QREC科目の体系
- 2 **FOCUS ON**  
LECTURE
  - 09 / 講義スケジュール
  - 10 / QREC履修者データ
  - 12 / 講義ピックアップ
  - 24 / PARKS
  - 26 / 研究プロジェクト
  - 28 / 国際シンポジウム
- 3 **FOCUS ON**  
ORGANIZATION
  - 30 / 2024年度の組織
- 4 **FOCUS ON**  
STUDENT INITIATIVE PROGRAMS
  - 34 / 学生の独創的活動支援
  - 46 / アクセラレーション・プログラム
  - 48 / 九創会
  - 50 / プレミアムメンバーズ
- 5 **FOCUS ON**  
FACILITIES
  - 51 / QREC施設
  - 52 / ご支援者芳名





沿革

HISTORY

これまでの歩みを年表で振り返ります。

- 1996 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー (VBL) 設立 ※QRECの前身
- 1997 全学プロジェクト: チャレンジ&クリエイション (C&C) 開始
- 2004 起業家セミナー (現アントレプレナーシップ・キャリアデザイン) 開始
- 2006 九州大学 ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・プログラム (QREP) 開始
- 2007 学内共通施設使用開始 (産学連携棟 I)
- 2008 アカデミックチャレンジ (AC) 開始
- 2010.12 **ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター (QREC) 設立 (QRECの前身VBLを改組)**
- 2010 インキュベーション施設の管理・運営、大学内研究室・大学発ベンチャー企業が入居 (2011~)
- 2011.1 **ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター (QREC) 設立記念シンポジウム開催**
- 2011.4 基幹教育科目: 16科目の正規講義を開講 (2020年度時、30科目まで拡大)
- 2011.6 学生交流スペース「シリコンパレールーム」オープン
- 2011.7 日本創生ビレッジ (三菱地所) と提携
- 2011.11 九大祭起業体験プログラム (QSHOP) 7店舗が九大祭に初めて出店
- 2011.12 サンブリッジ (米国) と提携
- 2012.1 在福岡米国領事館と共催で「ブラウンバッグランチ・セミナー」開催
- 2012.3 東日本大震災をテーマにしたアジアラウンドテーブルを開催、ビデオ会議システム (遠隔講義システム) 導入
- 2012.4 キャンパス間を結んだ遠隔教育開始
- 2012.8 学生インターンシップ開始



- 2012.9 全国VBLフォーラムを主催: 全国45大学対象のVBLフォーラムの主催校として福岡にて開催
- 2013.3 初のQREC修了証授与
- 2013.6 QREC教員指導の学生達が米国ビジネスプランコンペで優勝 高田准教授 (当時) の指導する工学府水素エネルギー専攻の学生グループが米国エネルギー省 (DOE) 主催の “HYDROGEN STUDENT DESIGN CONTEST 2013” で最優秀賞受賞
- 2013.6 2013年度 (平成25年度) 科学技術白書にQREC教育が掲載
- 2013.8 新興国アントレプレナーシップ開講 パングラデシュ研修実施
- 2013.9 アントレプレナーシップ教育に関する3日間の国際ワークショップ (IWEE) 開催
- 2013.12 QREC / KASTEC連携 バイオベンチャー・セミナー開催
- 2014.3 QRECアラムナイ (同窓会) kick offミーティングを三菱地所と共催
- 2014.8 フィンランド、アールト大学との連携協定締結
- 2014.8 グローバルPBL授業開始 (アールト大学・芸術工学部と共催でフィンランド現地研修実施)
- 2014.8 文部科学省のグローバルアントレプレナーシップ育成促進事業 (EDGEプログラム) に採択 (2014年度~2016年度)
- 2014.8 QREC / KASTEC連携 バイオベンチャー・セミナー開催
- ーデジタルものづくりの進展は、個人、企業、地域をどう変えるかー
- 2014.8 海学へのビジネスプランコンペへの参加支援制度開始 (グローバル・チャレンジ&クリエイション (G.C&C))
- 2014.11 第9回ニッポン新事業創出大賞「支援部門」最優秀賞の経済産業大臣賞を受賞
- 2015.3 イノベーション教育学会 第3回 年次大会を主催

- 2015.6 文部科学省EDGE事業 新興国アントレプレナーシップ・キックオフセミナー
- 2015.8 スウェーデン、チャルマース工科大学より講師を招聘し、アントレプレナーシップ教育者のためのセミナーを開催
- 2015.9 パングラデシュ、ダッカ大学との連携協定締結
- 文部科学省EDGE事業 QREC & 九州大学システム情報科学研究所 / ダッカ大学FBS局間提携記念シンポジウム
- 2015.9 伊都キャンパスへの移転: 「シリコンパレールーム」「ミーティングルーム」パブリック1号館2階にオープン
- 2015.12 ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・プログラム (QREP2.0) ヘリニューアル
- 2015.12 「QREC工房」伊都キャンパス パブリック1号館2階にオープン
- 2016.5 QRECオープン工房の開催
- 2016.6 第1回Startup Weekend Fukuoka Uni. in Kyushu University開催
- 2016.6 野村総研・QREC連携コンサルティングワークショップ開催
- 2016.10 学内産学連携組織強化の組織改編に伴い、QREC教員が学術研究・産学官連携本部所属に変更。QREC、学術研究・産学官連携本部 (AiRIMaQ)、グローバルイノベーションセンター (GIC) の学内協力関係強化
- 2017.4 学生のプロジェクト・サークル等活動支援プレミアムメンバーズ認定制度開始
- 2017.6 九州大学起業部設立 (発足時点で150名の学生が部活へ登録)
- 2017.7 平成29年度文部科学省の次世代アントレプレナー育成事業 (EDGE-NEXT) に採択
- QRECが九州大学の中心となって応募 (2017年度~2021年度まで)
- 2017.9 チームラボと福岡地域戦略推進協議会 (FDC) の共催で、「チームラボ×まちづくりワークショップ」を初めて開催
- 2017.11 第1回九州大学ビジネスプランコンテスト開催
- 2017.12 日本ベンチャー学会第20回全国大会「テクノロジー・スタートアップと地域エコ・システム」開催 (幹事校: 九州大学)

C&C 2016  
採択プロジェクト起業  
◎日本風洞製作所  
◎株式会社糸島ジビエ研究所

- 2018.5 NEDO: 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構と起業家育成支援相互協力締結
- 2018.8 スウェーデン、チャルマース工科大学と連携協定締結
- 2018.9 株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズ (FVP) と共同研究契約を締結、FVPと共同で大学発ベンチャー創出を支援する「FFGインキュベーションプログラム」を新設 ※2018年10月開始
- 2019.3 伊都キャンパス、センター5号館、6号館へ移転 (学生利用設備の拡充) 「QREC工房」および「ToP」がセンター5号館 7階にオープン 「BasE」がセンター6号館 2階にオープン
- 2019.4 新入生向け「第1回QRECガイダンス」開催
- 2020.4 新型コロナウイルスの影響によりすべての授業をオンラインにて実施
- 2020.7 内閣府のスタートアップエコシステム拠点形成事業に採択 (福岡市他との共同事業)
- 2020.12 **ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター (QREC) 設立10周年**
- 2021.3 JST「社会還元加速プログラム (SCORE) 大学推進型 (拠点都市環境整備型)」に九州大学「GAP-NEXT」が採択
- 2021.4 これからの日本を支える人材育成のサポートを目的とした「九創会」の設立
- 2022.5 国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST) による「大学・エコシステム推進型スタートアップ・エコシステム形成支援」の採択を受け設立された「Platform for All Regions of Kyushu & Okinawa for Startup-ecosystem (PARKS)」の主幹機関として活動
- 2023.12 世界中の研究者とのネットワーク形成およびアジアにおけるアントレプレナーシップ研究・教育の更なる発展を目指し、「第1回アントレプレナーシップ教育に関する国際シンポジウムinアジア」を開催
- 2024.8 テクノロジーの事業化に向けた仮説検証を短期間で集中的に行う「アクセラレーション・プログラム」を2023年度のパイロット版を経て本格開始

C&C 2017  
採択プロジェクト起業  
◎メドメイン株式会社  
(九大起業部からの起業第1号)

C&C 2019  
採択プロジェクト起業  
◎株式会社nanoFreaks  
◎株式会社Actra



FOCUS ON

1

TRY  
TRY

AN OVERVIEW OF QREC



使命

MISSION



新しい価値創造にチャレンジするグローバルリーダーを育成します。



アジアでトップクラスにランキングされる教育・研究組織を目指す

先進的なアントレプレナーシップ関連教育を提供することにより、学生自らが「未来を創る」ことを重視し、九州大学から自立心、向上心、グローバル意識を有し、積極的に新しい価値創造\*1にチャレンジする、世界に羽ばたくリーダー人材を輩出します。

\*1:新しい価値創造とは、人文・社会科学、自然科学などの分野、もしくはそれらの融合分野において、イノベーションを生み出すことを指す。



世界を舞台に次代を担うグローバルリーダーを育成する

ベンチャー起業に限らず、大企業、アカデミア等を含む社会のあらゆる分野で、「新しいことを仕掛ける人」「社会を変えようとする人」を育成する広義のアントレプレナー人材の育成を目指します。



地域におけるアントレプレナーシップ醸成のハブを確立する

国や自治体、企業、国内外の大学とも連携し、多様な学びの場でプログラムを実施します。各大学・地域の特性を活かし、シナジーを創出するプログラムの展開を行っています。



活動内容

ACTIVITIES



QRECでは次の4点をベースに、それぞれが関連しあう取り組みを行っています。



教育

日本ではじめて  
全学学生(学部/大学院)を対象とした  
一貫的、体系的アントレプレナーシップ  
教育を提供MOT教育などを融合した広義のアントレ  
プレナーシップ教育を展開。

社会連携

プラクティカル、産学連携

双方向参加型・体験型・実践的な教育を  
実施するために、産業界と積極的に連携  
し人材や教育の場の提供をしています。  
九州大学の学生のみならず、専門分野の  
垣根を越え、学外や地域社会のネット  
ワークの構築も促します。

研究

現代ニーズへ対応したアントレプレナー  
シップ研究・教育法の研究新興国ビジネス、社会的起業等、現代の  
多様かつ新たな動きに対応するべく、各  
教員がそれぞれの専門分野をいかした研  
究活動を行っています。

組織・運営

分野融合と多様性確保

学内各部署と相互連携した教育を企画・  
実施します。

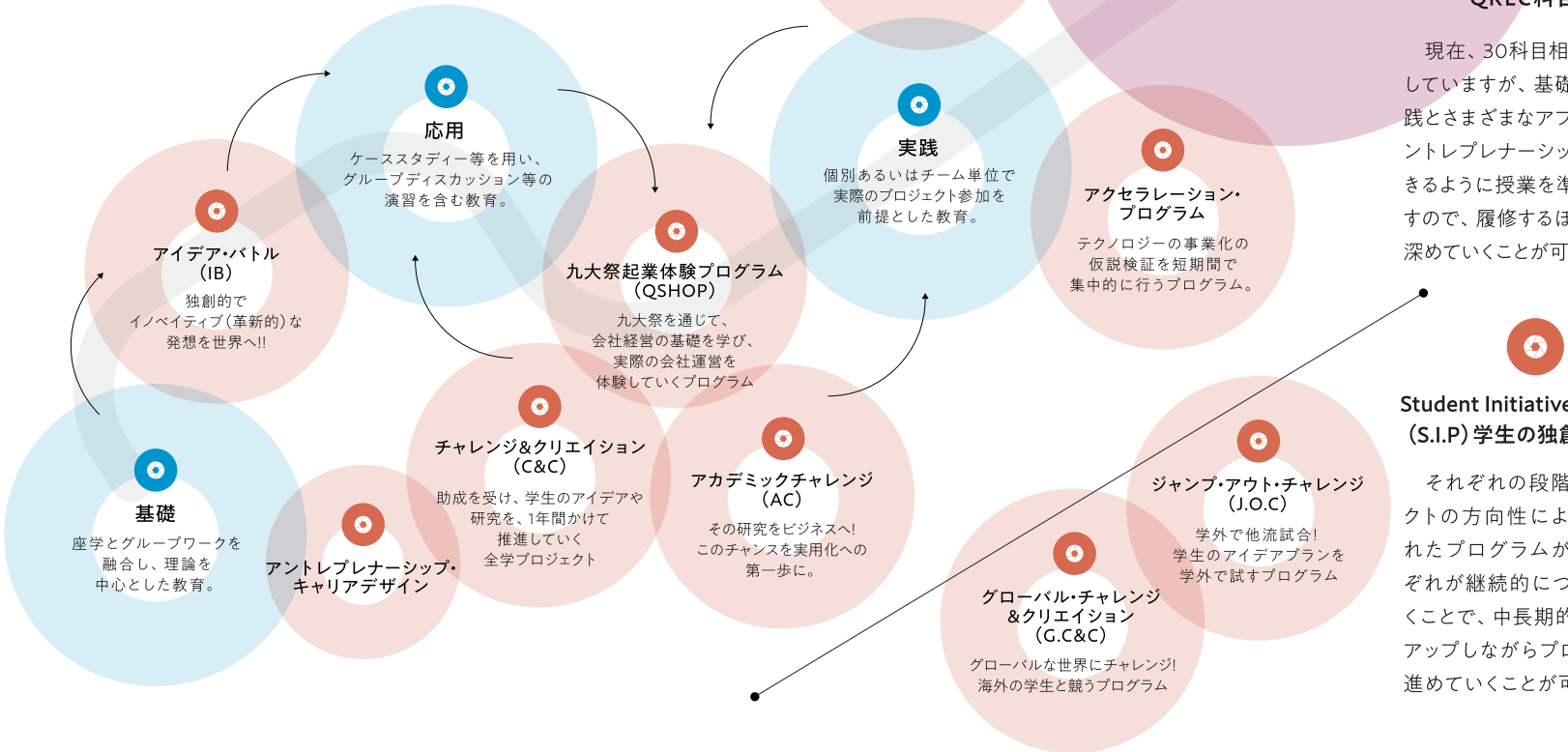
グローバル性の重視

世界の主要大学等と連携し、国際的な  
教育を実施します。

# QREC教育プログラム

### アントレプレナーシップを持って考え、行動すること

QRECが提供する教育プログラムは、学生が自らの意志で「行動」を始める段階までを教育の対象としています。QREC教育プログラムは、すべての九大生がアントレプレナーシップを持って考え、行動することを目的とし、そのために、[●QREC科目群]、[●S.I.P学生の独創的な活動]という大きく2つのプログラムを提供しています。



### QREC科目群

現在、30科目相当数を展開していますが、基礎、応用、実践とさまざまなアプローチでアントレプレナーシップを学習できるように授業を準備していますので、履修するほどに学びを深めていくことが可能です。

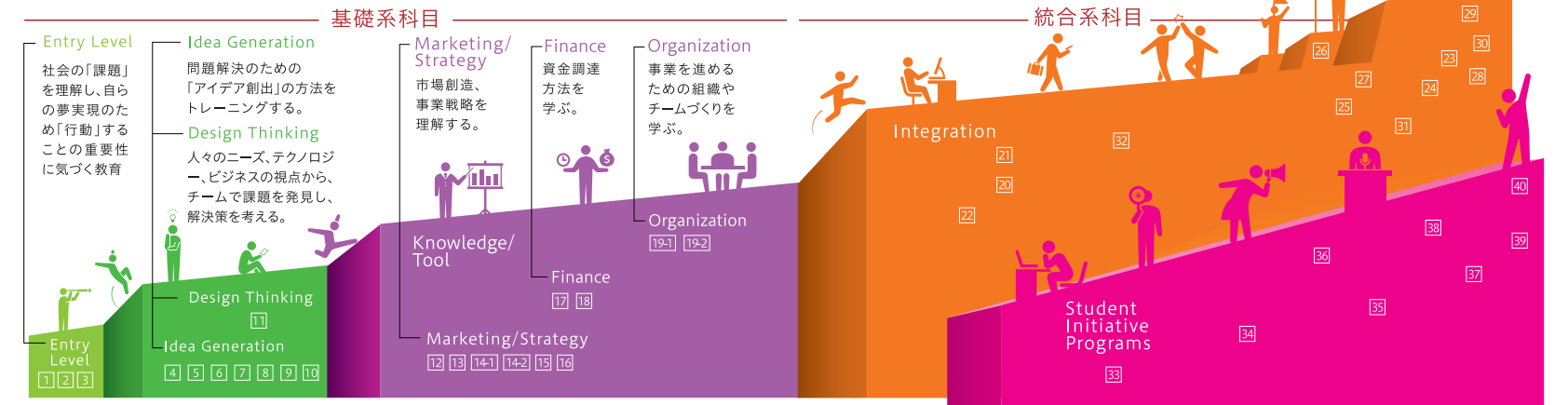
### Student Initiative Programs (S.I.P) 学生の独創的な活動

それぞれの段階やプロジェクトの方向性によって分けられたプログラムがあり、それぞれが継続的につながっていくことで、中長期的にステップアップしながらプロジェクトを進めていくことが可能です。

# QREC科目の体系

## QREC CURRICULUM SYSTEM

カリキュラムにある科目は、全学の学生が副専攻的な位置付けで履修できます。



Motivation	Knowledge/Tool	Integration
<p>自らの「夢」を実現することや自らのアイデアで「世界を変える」楽しさに気づく教育</p> <p>共通基盤</p> <p>Design Thinking 11 アイデア・ラボ II ●●</p> <p>Idea Generation 10 デジタル工作応用 ●</p> <p>8 実践データサイエンス入門 ● 9 企業と創るアイデアソン・ハッカソン演習 ●</p> <p>6 デザイン思考演習 ● 7 デジタル工作入門 ●</p> <p>4 アントレプレナーシップ・キャリアデザイン ● 5 アイデア・ラボ I ●</p> <p>共通基盤</p> <p>Entry Level 3 Entrepreneurial Intention ●●</p> <p>2 キャリアのための自己探求学 ●</p> <p>1 アントレプレナーシップ入門 ●</p>	<p>課題解決のためのアイデアを実現する方法や知識を得る教育</p> <p>組織設計・組織行動</p> <p>Organization 19-1 アントレプレナーシップ・組織論基礎 ● → 19-2 アントレプレナーシップ・組織論応用 ●</p> <p>会計・ファイナンス</p> <p>Finance 17 アントレプレナーシップ・会計/ファイナンス基礎 ● → 18 ベンチャー・ファイナンス ●</p> <p>戦略・マーケティング</p> <p>Strategy 16 テクノロジー・マーケティング・ゲーム ●</p> <p>15 Technology Marketing Game(English) ●●</p> <p>Marketing 13 イノベーション・マーケティング応用 ●</p> <p>12 アントレプレナーシップ・戦略論基礎 ●</p> <p>14-2 アントレプレナーシップ・マーケティング ●</p> <p>14-1 アントレプレナーシップ・マーケティング基礎 ●</p>	<p>知識や方法論を理解した上で、実際に実現してみる教育</p> <p>29 起業価値評価 ● 30 QBS提供科目 ●</p> <p>28 価値創造演習(持論) ●</p> <p>26 技術系アントレプレナーシップ ● 27 コーポレート・アントレプレナーシップ ●</p> <p>24 リーンスタートアップ演習 ● -コーポレートベンチャーリング、オープンイノベーションとCVC-</p> <p>25 グローバルPBLプログラム ●●</p> <p>23 Entrepreneurship Bootcamp ●●</p> <p>22 ビジネスにおける競争優位性 ●</p> <p>21 ニュービジネス・クリエーション -ビジネス・プランニング- ●</p> <p>20 Advanced Lecture in Research Skills Development(English)(実用研究技能特論) ●●</p> <p>31 QRECインターンシップ ● 32 Global Seminar(English) ●●</p>
<p><b>Student Initiative Programs 学生の独創的な活動</b></p> <p>34 起業体験プログラム (QSHOP) ● 36 アカデミックチャレンジ (AC) ● 38 グローバル・チャレンジ&amp;クリエイション(G・C&amp;C) ● 40 九創会 ●</p> <p>33 アイデア・バトル (IB) ● 35 チャレンジ&amp;クリエイション (C&amp;C) ● 37 ジャンプ・アウト・チャレンジ (J.O.C) ● 39 アクセラレーション・プログラム ●</p>		

FOCUS ON

2

LECTURE



QREC科目群2024年度スケジュール

2024 SCHEDULE

● Motivation ● Knowledge/Tool ● Integration

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
春学期講義開講		夏学期講義開講				秋学期講義開講		冬学期講義開講			
● 価値創造演習						● 起業価値評価(特論)		● 起業価値評価(特論)			
						● 技術系アントレプレナーシップ(特論)		● 技術系アントレプレナーシップ(特論)			
						● リーンスタートアップ演習		● リーンスタートアップ演習			
						● Advanced Lecture in Research Skills Development(English)(実用研究技能特論)		● Advanced Lecture in Research Skills Development(English)(実用研究技能特論)			
						● アントレプレナーシップ・組織論基礎		● コーポレート・アントレプレナーシップ(特論)			
						● テクノロジー・マーケティング・ゲーム(秋)		● テクノロジー・マーケティング・ゲーム(特論)			
						● アントレプレナーシップ・会計/ファイナンス基礎		● Technology Marketing Game(English)			
								● アントレプレナーシップ・マーケティング基礎			
								● アントレプレナーシップ・マーケティング応用			
								● デジタル工作応用			
								● アイデア・ラボ II			
								● デジタル工作入門			
								● アイデア・ラボ I			
								● 実践データサイエンス入門			
								● 企業と創るアイデアソン・ハッカソン演習			
								● アントレプレナーシップ入門(後期)			
								● アントレプレナーシップ・キャリアデザイン			
								● アントレプレナーシップ入門(前期)			
								● デザイン思考演習			
								● キャリアのための自己探求学(前期)			
								● Entrepreneurial Intention			
								● キャリアのための自己探求学(後期)			





## 2024年度QREC履修者データ

## COURSE DATA / NUMBER OF STUDENTS

2024年度  
QREC科目  
受講生数  
**1,230**  
名



## 学部・大学院生別比

学部生 976名  
大学院生 230名



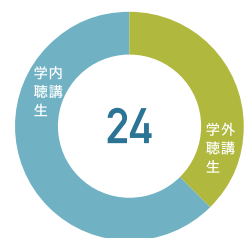
## 男女比

男性 806名  
女性 400名



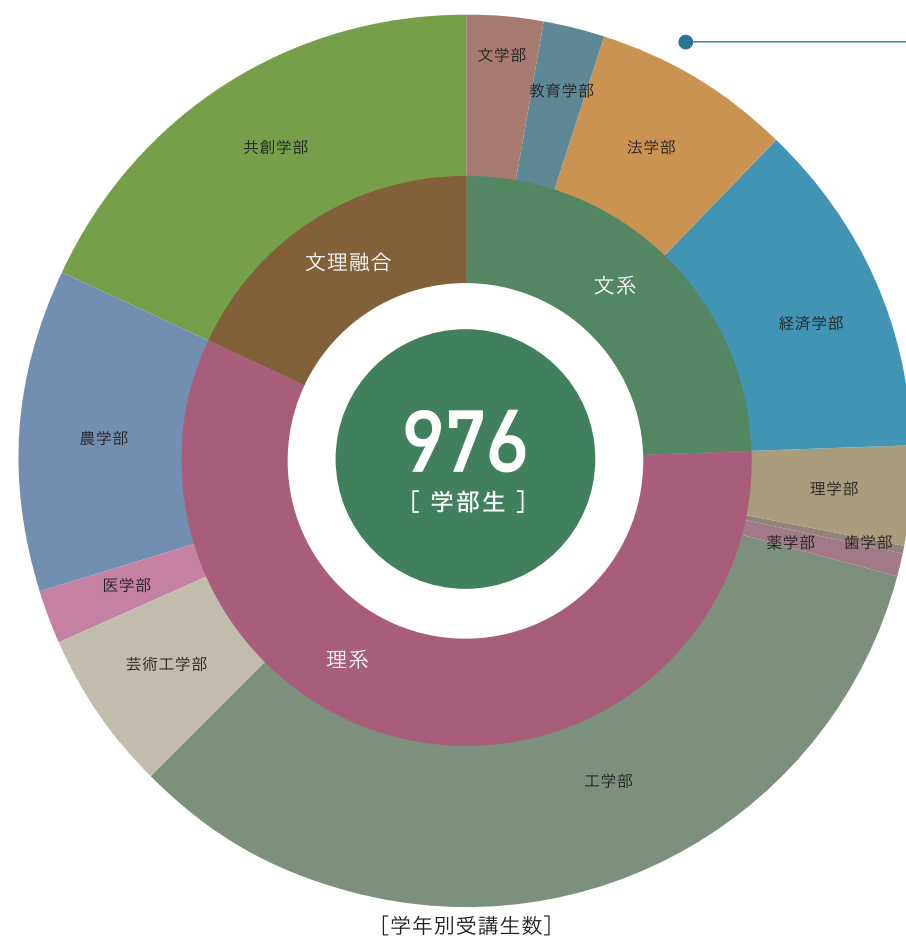
## 留学生比

日本人 1,091名  
留学生 115名



## 聴講生比

学外聴講生 9名  
学内聴講生 15名

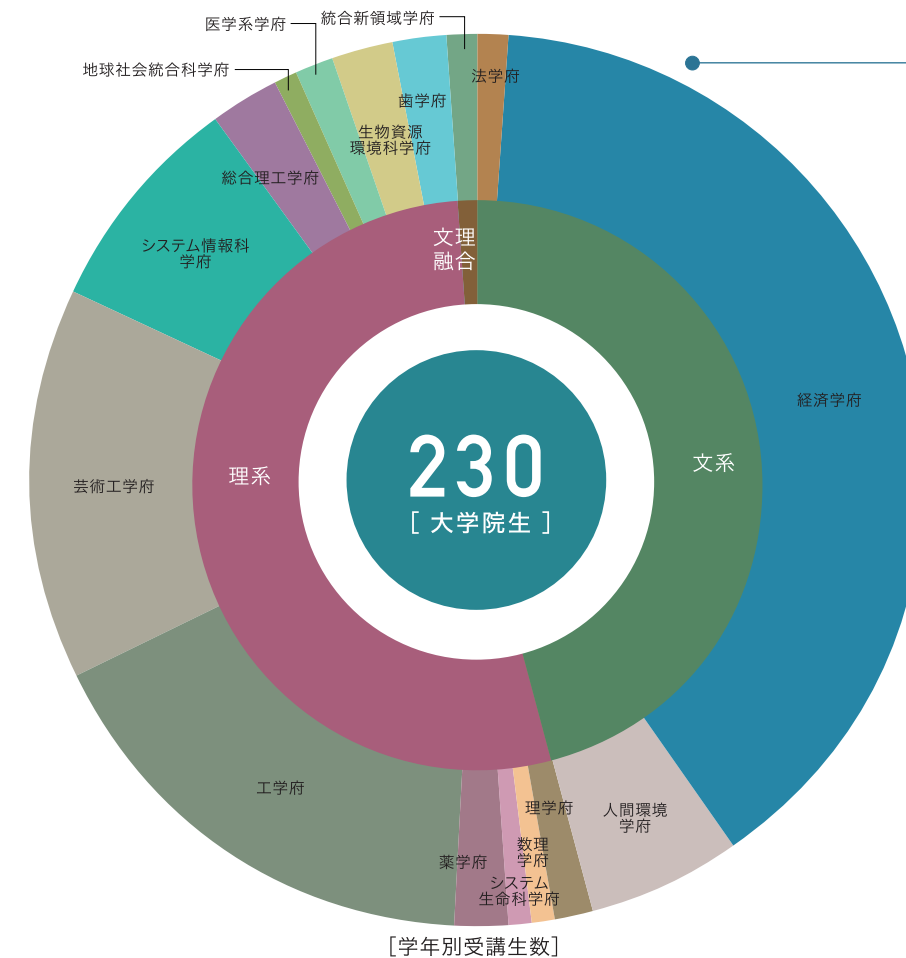


●1年生 / 246名 ●2年生 / 331名 ●3年生 / 212名 ●4年生 / 186名 ●5年生 / 1名

## 履修生内訳 [学部生]

文系 239名  
理系 563名  
文理融合 174名

文学部 29名  
教育学部 21名  
法学部 71名  
経済学部 118名  
理学部 35名  
歯学部 4名  
薬学部 7名  
工学部 327名  
芸術工学部 57名  
医学部 17名  
農学部 116名  
共創学部 174名



●修士1年生 / 113名 ●修士2年生 / 77名 ●博士1年生 / 16名 ●博士2年生 / 6名 ●博士3年生 / 16名 ●交換留学生 / 2名

## 履修生内訳 [大学院生]

文系 106名  
理系 122名  
文理融合 2名

法学府 3名  
経済学府 90名  
人間環境学府 13名  
理学府 3名  
数理学府 2名  
システム生命科学府 2名  
薬学府 4名  
工学府 39名  
芸術工学府 33名  
システム情報科学府 18名  
総合理工学府 6名  
地球社会統合科学府 2名  
医学系学府 3名  
生物資源環境科学府 5名  
歯学府 5名  
統合新領域学府 2名





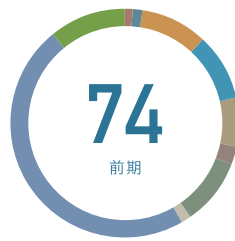
## アントレプレナーシップ入門

LECTURE HIGHLIGHTS 1

[教員] 五十嵐 伸吾 教授 / 株式会社REAPRA



履修生数



文学部	1名
教育学部	1名
法学部	7名
経済学部	7名
理学部	5名
歯学部	2名
工学部	7名
芸術工学部	1名
農学部	35名
共創学部	8名



文学部	1名
教育学部	1名
法学部	3名
経済学部	8名
理学部	4名
工学部	1名
芸術工学部	3名
農学部	2名
共創学部	3名

この講義は、アントレプレナーシップ教育の出発点に位置付けられ、起業機会の発見やアイデア創出、具体化の方法論の基礎を学びます。2021年度から、外的世界、内的世界両方を掘り下げる形式に教育内容を改め、2024年度も、株式会社REAPRAの協力を得て実施しました。自分の内面を見つめ直すことで外界に対してどう働きかけたいのか、外界の変化を自分に対する刺激と捉えて、どう内面に取り込むのかを考えます。

- 前期 春学期 ▶ 開講日：水曜日4・5限 4/10、17、24、5/1、15、22、29、6/5
- 後期 秋学期 ▶ 開講日：水曜日4・5限 10/2、9、16、23、30、11/13、20、27

Motivation Entry Level / Idea Generation / Design Thinking



## アイデア・ラボI / アイデア・ラボII

LECTURE HIGHLIGHTS 2

[教員] 五十嵐 伸吾 教授(アイデア・ラボI) / 原口 唯 客員准教授(アイデア・ラボII)



履修生数



教育学部	1名
法学部	2名
経済学部	7名
理学部	1名
工学部	2名
芸術工学部	11名
医学部	1名
農学部	17名
共創学部	9名

[学内聴講 1名]



文学部	3名
法学部	1名
経済学部	2名
工学部	1名
農学部	1名
共創学部	1名

アイデア・ラボIでは、1本の空のペットボトルのような身近な材料を用いながら、発散手法を使い短時間で多くのアイデアを創出した上で収束手法により最適なアイデアを選択する演習を行います。2024年度も、グループワークを充実することができました。ゲストとしてチームラボ株式会社の山田剛史氏を招き、プロトタイピングの演習を行いました。

アイデア・ラボIIでは、社会課題解決に資するアイデアの発想のみならず、その社会実装に向けた具体的なアクションとしてのインタビューやプレゼンテーションといったスキルをグループワークを通じて学びました。また、授業全体の学びの最大化のために「システムコーチング」という学習促進支援手法を用いて実施しました。

[ゲスト講師] ●アイデア・ラボI チームラボ株式会社 山田 剛史 氏 ●アイデア・ラボII 合同会社 Kumu 代表社員 秋元 利春 氏

- アイデア・ラボI 開講日：水曜日4・5限 6/12、19、26、7/3、10、17、24、31
- アイデア・ラボII 開講日：水曜日4・5限 12/4、11、18、25、1/8、22、29、2/5



学生の所属・学年は2024年時点





### アントレプレナーシップ・マーケティング基礎

LECTURE HIGHLIGHTS 3

[教員] ネルグイ エンフザヤ助教



#### 基礎 科目から

本講義では、マーケティングの基本的な理論と実務的なアプローチを学生が理解することを目的としました。アントレプレナーシップの視点を取り入れつつ、顧客ニーズの把握、製品・価格・広告のマネジメントについて講義を行いました。クラフトボス、ファブリーズ、Apple、ChatGPTなどのケーススタディを通じて、学生が実際の企業戦略を分析し、新たなマーケティング施策を考案する力を養いました。グループワークを多く取り入れ、学生同士の議論と協働を促しました。理論と実践を融合させた内容により、主体的に考える力とマーケティング的思考の育成を図りました。

●開講日: 火曜日1限 12/3、10、17、24、1/14、21、28、2/4

#### 応用 科目にSTEP UP!

### アントレプレナーシップ・マーケティング応用

[教員] 平野 健二 客員教授

開講日: 後期集中 11/17(日)、12/8(日)



#### 履修生数



- 教育学部 1名
- 法学部 4名
- 経済学部 15名
- 理学部 1名
- 工学部 14名
- 農学部 2名
- 共創学部 19名
- 生物資源環境科学府 1名



### アントレプレナーシップ・組織論基礎

LECTURE HIGHLIGHTS 4

[教員] 飛田 努 准教授(福岡大学)



#### 基礎 科目から

本講義は、アントレプレナーシップの視点から組織を捉え直し、創造的な活動を支える組織構造・文化・意思決定の仕組みを学ぶことを目的としました。DISC分析を通じて自己の志向性を理解し、多様な個が協働するプロセス、リスクと不確実性への対応、リーダーシップとフォロワーシップの相互性を考察しました。さらに、組織のあり方(階層型組織やフラット型組織)やMCS(経営管理システム)の設計原理を学び、組織成員が自律的に動ける環境の構築について実践的に理解しました。そのような中で起業家的行動を支える組織の在り方を総合的に探究しました。

●開講日: 後期集中 10/12(土)、11/30(土)、12/14(土)

#### 応用 科目にSTEP UP!

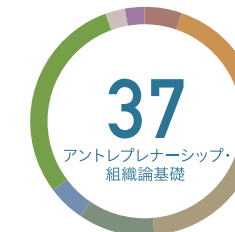
### アントレプレナーシップ・組織論応用

[教員] 黒木 正樹 教授(立命館大学)

●開講日: 前期集中 6/29(土)、6/30(日)、7/13(土)、7/14(日)



#### 履修生数



- 文学部 2名
- 法学部 5名
- 経済学部 3名
- 理学部 8名
- 工学部 4名
- 農学部 2名
- 共創学部 11名
- 人間環境学府 1名
- 総合理工学府 1名





## テクノロジー・マーケティング・ゲーム/ Technology Marketing Game(English)

LECTURE HIGHLIGHTS 5

[教員] 金子 晃介 准教授 / 渡邊 由佳 助教



世界屈指のMBAプログラム仏国INSEADで開発された経営シミュレーションゲーム「MarkStrat」を使用し、6人程度のチームに分かれた参加者が、ゲーム内で株価を競い合いました。

基礎的な経営学のフレームワークを学び、シミュレーション内で提示された市場データを読み解き、チーム内で議論して意思決定を行い、その過程を内省的に振り返るというプロセスを繰り返すことで、マーケティングだけでなく、ファイナンスや戦略など幅広い経営学の基礎知識、リーダーシップやチームワークなどのスキルを実践的に学びました。講義最終日には、ファイナルプレゼンテーションを行い、チームのパフォーマンスに対する評価を発表しました。

### テクノロジー・マーケティング・ゲーム

※工学部提供科目「テクノロジー・マーケティング」

開講日:春学期 水曜日4・5限 4/10、17、24、5/1、15、22、29、6/5

開講日:夏学期 水曜日4・5限 6/12、19、26、7/3、10、17、24、31

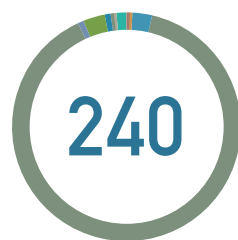
開講日:秋学期 水曜日4・5限 10/2、9、16、23、30、11/13、20、27

### Technology Marketing Game (English)

開講日:冬学期 水曜日4・5限

12/4、11、18、25、1/8、22、29、2/5

### 履修生数



文学部	1名	経済学部	2名
法学部	1名	工学部	1名
経済学部	7名	芸術工学部	1名
工学部	209名	システム情報科学府	3名
農学部	2名		
共創学部	7名		

[学内聴講 6名]

Knowledge / Tool Marketing / Strategy / Organization



## Global Seminar (English)

LECTURE HIGHLIGHTS 6

[教員] 五十嵐 伸吾 教授 / (山川 恭弘 准教授 Babson大学)



アントレプレナーシップ領域の研究並びに教育で世界水準の米国バブソン大学より、山川恭弘博士を招聘しました。欧米では起業は「チームプレイ」が常識となっており、バブソン大学におけるアントレプレナーシップ教育でも、どのようにチームを形成し、どのようなパフォーマンスを高められるかを経験的に学ぶことが強く奨励されています。

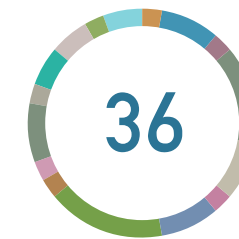
Global Seminarでも、この流れに沿って、チームを構成するメンバー個々のリーダーシップが、どのようにチームでの議論やチーム行動に影響を及ぼすかを振り返りながら、新たなビジネスアイデアの構築に取り組みました。

●開講日:前期集中 6/22(土)、6/23(日) ●開催場所:パピヨン24 12号会議室

## Integration



### 履修生数



法学部	1名	法学府	1名
経済学部	3名	システム生命科学府	1名
薬学部	1名	工学部	3名
工学部	5名	芸術工学部	1名
芸術工学部	3名	システム情報科学府	2名
医学部	1名	人間環境学府	2名
農学部	3名	地球社会統合科学府	1名
共創学部	6名	歯学部	2名

学生の所属・学年は2024年時点





## リーンスタートアップ演習 -デザイン・プロセス:デザイン思考+プロトタイピング-

LECTURE HIGHLIGHTS 7

[教員] 五十嵐 伸吾 教授 / 平井 康之 教授 / 稲村 徳州 助教



本講義では、デザイン思考の手法を活用し、アイデア創出からプロトタイピングまで、実現可能なビジネスモデル創出の手法を実践的に学ぶことを目的としています。2024年度のテーマは、「生成AIなどのAI技術やサービスを通じて本来持つ能力やセンスを高め、より創造的な生活を送る方法」で、元IDEO Tokyo松本氏、野々村氏によるデザイン思考の演習をはじめ、多くのゲスト講師にアドバイスをいただきました。

●開講日:後期集中 9/18、24、25、26、27、10/19、20、11/16、17

# Integration



履修生数



●法学部 1名 ●芸術工学部 6名  
●芸術工学部 2名 ●共創学部 1名 [学外聴講 1名]



## Advanced Lecture in Research Skills Development (English) (実用研究技能特論)

LECTURE HIGHLIGHTS 8

[教員] 原田 裕一 教授



今年度の受講生は19名で、日本人参加者は2名でした。馬出地区、大橋地区からの参加者もいました。アフリカ出身の方々は、政府の開発を担っている方々で、発展途上国における国土開発と環境破壊について参加者の中で深い議論を行いました。今年も起業を考える方もいて、講義とは別に起業について議論を深めると共に、これまで受講して起業予定の学生も交えて有益な意見交換を行いました。

●開講日:金曜日4・5限 10/4、11、25、11/8、15、22、29、12/6

履修生数



●法学部 1名 ●芸術工学部 2名 ●生物資源環境科学府 1名  
●経済学府 1名 ●総理工学府 1名 ●歯学府 1名  
●工学府 9名 ●地球社会統合科学府 1名 ●統合新領域学府 1名  
[学内聴講 1名]





## 起業価値評価(特論)

LECTURE HIGHLIGHTS 9

[教員] 高田 仁 教授

本科目では、大学が保有する研究成果の商業化に必要な実践的知識やスキルを獲得するために、受講者が計5チームを形成し、MITで用いられる手法(24step)などを応用してテクノロジーのアセスメント～ビジネスアイデアの構想～市場参入戦略の立案を行いました。最終日にベンチャー・キャピタルなど学外の専門家にプレゼンテーションを行い、多様な観点からのフィードバックを得ました。

### ●開講日:

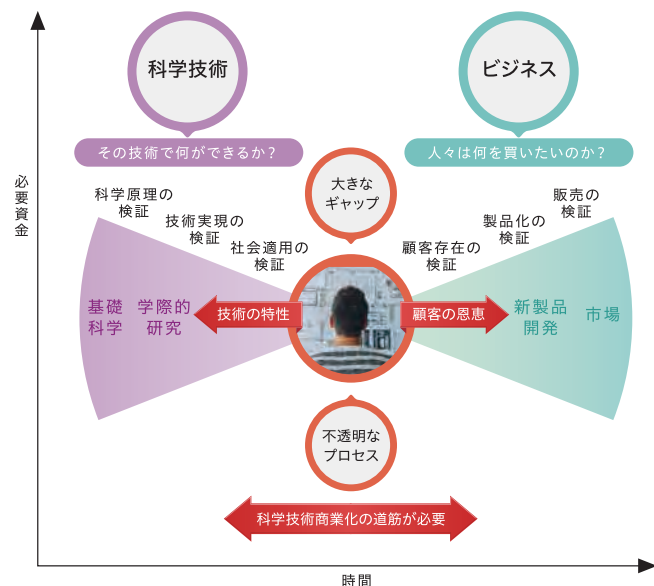
後期隔週 土曜日4・5限  
10/5、19、11/9、16、30、  
12/14、1/11、25



### ●履修生数



● 経済学府	9名
● システム生命学府	1名
● 薬学府	1名
● 工学府	1名
● システム情報科学府	5名
● 医学系学府	2名
● 生物資源環境科学府	1名



## 価値創造演習

LECTURE HIGHLIGHTS 10

[教員] 高田 仁 教授/五十嵐 伸吾 教授

本演習では、三部局連携(QREC、QBS、芸術工学府)の枠組みで異なるバックグラウンドの履修者がチームを組成し、受講者の「こだわり」をもとに肩入れしたいユーザーのSOSを解決する未来社会を構想し、新しいデザイン&ビジネスを創造する演習を行いました。最終日には、外部専門家を招聘してプレゼンテーションを行い、活発なディスカッションを行いました。

### ●開講日:

前期集中(9:00~12:00)  
4/13、20、27、5/11、18、25、6/1、8、15、22、29、7/7、13、20、27、8/4

### ●履修生数



● 経済学府	8名
● 芸術工学府	9名



## グローバルPBLプログラム

LECTURE HIGHLIGHTS 11

[教員] 平井 康之 教授/張 彦芳 准教授/SARANTOU MELANIE 教授



本講義は、フィンランドのアールト大学と連携して実施するPBL(課題解決型学習)形式の授業です。ゲスト講師を迎え、デザイン思考やデザイン・フィクションの手法を活用しながら、社会課題に対する具体的な解決策の提案に取り組みます。「社会のデザインをどのように考えるか」「社会の問題に対してデザイン的アプローチで解決策を導き出すにはどうすればよいか」といった問いを中心に講義を展開しました。

2024年度は、「2050年の子育てに優しい社会」をテーマに、「Father's Role(父親の役割)」「Relationship(人間関係)」の2チームに分かれて取り組みました。このテーマに関連する日本とフィンランドにおける社会デザインの実態を調査・比較し、それぞれのチームが代替的な未来社会を構想し、リデザイン案を作成しました。

本講義を通じて、学生たちはソサエタルデザイン、デザイン・リサーチ、未来思考に対する理解を深め、ユートピア的思考やデザイン・フィクションの手法を活かしながら、2050年を見据えた新しい子育て社会のデザイン提案を行いました。

※2024年度は渡航なし

[ゲスト講師] ●アールト大学メディアラボ・アーキグループ元ディレクター カーリハンス 氏

●開講日:6/8、9、7/20、21、8/6、7、9/12、13、20

### ●履修生数



● 芸術工学部	1名
● 共創学部	1名
● 芸術工学府	5名





STUDY  
ABROAD  
海外で学ぶ



## Entrepreneurship Bootcamp

LECTURE HIGHLIGHTS 12

[教員] 金子 晃介 准教授



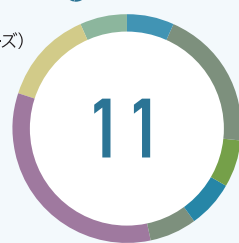
2024年度は、これまで九州大学の教育プログラムで、学生が取り組んできた活動を、資金的に持続可能な活動にしていくためのビジネスモデルの可能性について考案しました。ビジネスモデルを考えるプロセスでは、顧客インタビューやピッチを通じて、フィードバックをもらいながら、ビジネスモデルをより解像度の高いものにしていきました。福岡研修の最終日は、福岡のスタートアップ関係者の前でピッチをし、フィードバックをもらいました。アメリカ研修では、東海岸（ボストン）と西海岸（シリコンバレー）を訪問しました。ボストンでは、バブソン大学、ハーバードビジネススクール、マサチューセッツ工科大学などのスタートアップに関連する大学を訪れたり、CIC Cambridgeで起業家との交流を通じてビジネスモデルを改善しました。シリコンバレーでは、スタンフォード大学やJapan Innovation Campusなどを訪問してスタートアップ関係者の前でピッチをし、フィードバックをもらい、より質の高いビジネスモデルを考案していきました。

●開講日：○福岡研修 6/1、22、23、7/20、21、8/9 ○アメリカ研修 9/3～9/10

[ゲスト講師]

- 矢野 真太郎 氏  
(株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズ)
- 池田 貴信 氏  
(Fukuoka Growth Next)
- 松尾 雄介 氏  
(CIC Fukuoka)

履修生数



●法学部 1名	●経済学部 1名
●工学部 3名	●人間環境学部 1名
●芸術工学部 2名	●芸術工学部 1名
●農学部 1名	
●共創学部 1名	

Integration



STUDY  
ABROAD  
海外で学ぶ



## Venture Life Challenge2024

LECTURE HIGHLIGHTS 13

[教員] 五十嵐 伸吾 教授



国内  
プログラム

2024年度は、国内の他大学の学生に加え、CSE\*の学生13人も参加しました。国籍、大学、専攻等が異なる様々な知識と経験を有した多様な学生たちがチームを作り、企業より提示された経営の根幹に関わる課題解決に挑戦しました。正解のない問いに向き合い、様々な真実の断片を拾い集め、試行錯誤を通じて解決策を紡ぎ出していくプロセスを経験的に学ぶことがこのプログラムの狙いです。。

※本プログラムは、希望者には「QRECインターンシップ」としての単位が取得可能です。

●スケジュール

8月19日(月):キックオフイベント 8月20日(火)～30日(金):各企業で課題への取組  
8月24日(土)、25日(日):エクスカージョン 8月31日(土):最終発表会

受入れ企業

- 株式会社Fusic ●嘉穂無線ホールディングス株式会社 ●株式会社九州博報堂 ●九大OIP株式会社 ●パナソニックホールディングス株式会社 ●株式会社ペンシル
- パーソルテンプスタッフ株式会社 ●PwCコンサルティング合同会社 ●株式会社リクルート ●チームラボ株式会社 ●その他教育機関向けにCRMを提供する企業

海外  
プログラム

CSE\*の入学直後のプログラム“Startup-Challenge”に九州大学の学生も参加しました。新入生45名程度の中に、九大生が加わり約10チームで、200スウェーデン・クロネ(≒3,000円)を原資に、週末を含む1週間どこまで売上、利益を獲得できるかに挑みました。このプログラムは、時間制限のプレッシャーの中で、十分に考える時間もなく即座に意思決定し、行動に移し、結果を見て再考するサイクルを回していくことが求められます。最後に全体を振り返り俯瞰することで、自分たちが何を学べたかを思い返す経験学習に則ったプログラムです。

●スケジュール

7月25日(木):事前研修 9月5日(木)～9月12日(木):スウェーデン研修

\*CSE:チャルマース工科大学(ヨーテボリ/スウェーデン)の技術系起業家養成の修士課程Chalmers of School of Entrepreneurship



## Platform for All Regions of Kyushu & Okinawa for Startup-ecosystem (PARKS\_パークス)

### START(大学・エコシステム推進型)

大学発新産業創出プログラム(START)は、大学・エコシステム推進型スタートアップ・エコシステム形成支援にて採択されました。QRECは『アントレプレナーシップ人材育成プログラムの開発・運営等』を中心に取り組みました。

国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)による「大学・エコシステム推進型スタートアップ・エコシステム形成支援」の採択を受け、オール九州・沖縄圏一体でアジアとつながるスタートアップ・エコシステムを創出することを目指し、Platform for All Regions of Kyushu & Okinawa for Startup-ecosystem (PARKS\_パークス)を設立しました。九州大学は、九州工業大学とともに主幹機関として推進いたします。



**主幹機関:**九州大学、九州工業大学

**共同機関:**佐賀大学、長崎大学、熊本大学、大分大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学、北九州市立大学、九州産業大学、久留米大学、山口大学、立命館アジア太平洋大学、沖縄科学技術大学院大学、第一薬科大学、福岡工業大学、福岡大学、株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズ(FVP)、九大OIP株式会社

**幹事自治体:**福岡市、北九州市

#### ◎目指す姿

PARKSの起業活動支援プログラムでは、令和8年度末までに155社の起業を目指します。また、アントレプレナーシップ人材育成プログラムでは、令和8年度末までにPARKSに参画する全ての大学でアントレプレナーシップ教育の実施を目指します。加えて、令和8年度末までにPARKS参画大学全体で年間12,000人のアントレプレナーシップ教育の受講者数を目指します。

#### ◎事業概要

PARKSは、アジアへの窓口である九州・沖縄圏という地域にあるべき、かつ顧客志向で業界変化を実現可能な大学発スタートアップを持続的に創出していくことを目的とし設立されたプラットフォームです。スタートアップ・エコシステム拠点都市に選定されている福岡市、北九州市をモデル都市に、さらに九州・大学発ベンチャー振興会議との密な連携のもと、アントレプレナーシップ教育から起業支援までを一気通貫で実施し、2026年度末までに、PARKSインターユニバーシティ設立を目指し活動していきます。

PARKSは以下の4つを柱にスタートアップ・エコシステムの創出を進めます。

#### (1) 起業活動支援プログラムの運営

・スタートアップ創出に資する技術シーズの発掘から、起業家とのマッチングによる創業までをシームレスにつなげるための4ステップの起業活動支援プログラムを提供します。  
・各大学から継続的に、スタートアップ創出を実現するための支援人材の教育・整備を進めます。

#### (2) アントレプレナーシップ人材育成プログラムの開発・運営等

・九州・沖縄圏域のアントレプレナーシップ教育に関わる教員の育成を目的に、PARKS参画大学でアントレプレナーシップ教育者のネットワークを構築し、アントレプレナーシップ教育に関わる知見やノウハウの情報共有を行います。また、先進的な国内・国外の組織と連携してFaculty Development(以下、FD)を実施し、九州・沖縄圏域においてアントレプレナーシップ教育を実施できる教員を育成します。  
・学生を対象としたアントレプレナーシップ教育として、アーカイブシステムを利用した動機付け・意識醸成を行う教育を提供します。また、アントレプレナーシップのコンピテンシーの形成を目的とした教育として、各大学の特色を活かしたPBL等を通じた社会実装教育を実施します。

#### (3) 起業環境の整備

・本プラットフォーム内で①各大学の取組をつなぐPARKSアーカイブシステムの運用、②起業環境諸ルールのフォーマット化、③各拠点の起業環境をICTツールによるネットワーク化によりオール九州・沖縄圏域でスタートアップ・エコシステムを創出するための環境を整備していきます。

#### (4) 拠点都市のエコシステムの形成・発展

・福岡市・北九州市の両スタートアップ・エコシステム拠点都市をモデル都市として、PARKS全体にスキル・ノウハウを展開します。  
・アジアのVCとも連携し、アジア展開も見据えた起業支援を実施していきます。



## PARKS 海外派遣 プログラム

PARKS参画大学の学生を海外へ派遣し、現地のスタートアップ関係者や現地の大学生と共にワークショップ等を行いながら、アントレプレナーシップのマインドセットや行動様式を身につけてもらうための研修を実施しました。

### 参加学生

- ◎香港:12名
- ◎シンガポール:12名
- ◎台湾:11名

### スケジュール

#### 香港

- 2024年10月1日(火)～10月6日(日)** ※前後は移動日  
**Day1/**中文大学 アントレプレナーシップセンター、TYA香港 植木伸彦氏を訪問  
**Day2/**JETRO SU(スタートアップ)担当、H.S. Planning (HK) Limited、香港サイエンスパーク(HKSTP)、香港コンベンション・アンド・エキシビション・センター(HKCEC)、HK Fine Art Asia訪問  
**Day3/**The HKUST-SINO One Million Dollar Entrepreneurship Competition 2024参加  
**Day4/**Animae Technologies Limitedを訪問・講義を受ける 香港サイエンスパークを視察

#### シンガポール

- 2025年2月16日(日)** リアクタースクール事前研修 (ビジネスアイデア構築、チームビルディング)  
**2月20日(木)～2月27日(木)** ※移動日含む  
**Day1/**スタートアップ関連施設 One&Co singapore訪問  
**Day2-4/**リアクタースクールでハッカソンワークショッププログラム  
**Day5/**南洋理工大学(NTU)を訪問し、ビジネスプランをピッチ  
**Day6/**NUS Business Schoolを訪問し、ビジネスプランのピッチとフィードバックを行う

#### 台湾

- 2025年3月10日(月)～3月13日(木)** ※移動日含む  
**Day1/**新竹科技生活館、創新創業中心 (イノベーション&アントレプレナーシップセンター)、Startup Island Taiwan見学 国立陽明交通大学(NYCU)、One&Co Taiwan訪問  
**Day2/**国立政治大学(NCCU)にて現地の台湾学生とアイデアソンのワークショップに参加、学生によるビジネスアイデアの発表と台湾起業家からのフィードバック  
**Day3/**台湾・陽明交通大学 産業アクセラレータ(IAPS)訪問





## 研究プロジェクト

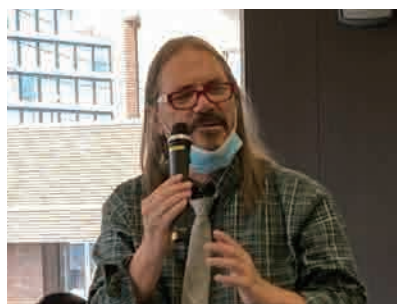
九州大学ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター(QREC)では、諸藤周平氏からのご寄附により、アントレプレナーシップ教育の基礎となる起業意思-行動の間の接続及び教授法やクラス運営を含む教育そのものとの関連性に関する7年間の研究プロジェクトを立ち上げました。

プロジェクトの立ち上げと並行して今後、アントレプレナーシップ教育に関する研究誌発刊と国際シンポジウムを毎年実施する方向で計画中です。



このプロジェクトは、アントレプレナーシップ教育が起業意思と行動に与える影響を調査することに焦点を当てており、特に効果的な教授法とフィードバックに重点を置いてアントレプレナーシップ教育プログラムを向上させることを目指しています。このプロジェクトの一環として、「起業意思」研究で世界的な権威であり、研究論文の引用件数が極めて多く、公職を歴任されているノリス・F・クルーガー博士に主要メンバーとして参加頂いています。

クルーガー博士には、2022年度から研究指導者(客員教授)として「Entrepreneurial Intention」科目を担当頂いております。



## このプロジェクトでは、以下の研究を実施する予定です

### メインリサーチ

#### 1/ 起業意思に関する研究

##### 研究チーム

- ノリス・F・クルーガー博士
- ガビ・A・カフカ 博士
- 五十嵐 伸吾 教授
- ネルグイ エンフザヤ 助教

##### 重点分野

学生の起業意思、メタ認知

アントレプレナーシップ教育が学生の起業意思やメタ認知-metacognition(自分の思考について考えること)の発達にどのような影響を与えるかを理解することに焦点を当てています。また、教育と学生の起業に対するマインドセットの関係を探ることを目的としています。

### サブリサーチ

#### 2/ プロセスの研究

##### 研究チーム

- 當眞 千賀子 教授
- ネルグイ エンフザヤ 助教

##### 重点分野

学習プロセス、観察研究

アントレプレナーシップ教育への介入によって生じる変化の根本的な理由を探ることを目的としています。

アントレプレナーシップ教育が、学生の態度、信念、行動に影響を与える、メカニズムやプロセスの特定を目的としています。

#### 3/ 行動に関する研究

##### 研究チーム

- 高田 仁 教授
- 渡邊 由佳 助教

##### 重点分野

卒業生の活動をフォローアップする、縦断的研究

アントレプレナーシップ教育の効果が学生時代を超えて行動に影響を与えるかどうかを調査することに焦点を当てています。

卒業生の活動をフォローアップすることで、アントレプレナーシップに基づく行動に与える長期的な影響を評価し、最も大きな影響力を持つプログラムの種類を特定することを目的としています。

#### 4/ チームに関する研究

##### 研究チーム

- 金子 晃介 准教授

##### 重点分野

チーム行動

個人の行動ではなく、新規事業創出プロセスにおけるチームの行動を調査することに重点を置いています。

この研究の目的は、チームがどのように協力し、意思決定を行い、新しいベンチャーを始める際に関連する課題をどう乗り越えるかを理解することを目指しています。



第2回  
アントレプレナーシップ  
教育に関する  
国際シンポジウムinアジア

本シンポジウムは、アジアにおけるアントレプレナーシップ教育と研究の発展を目指し開催しました。近年、世界中でアントレプレナーシップ教育が急速に増加していますが、アントレプレナーシップ教育における国際的なシンポジウムの開催は、アメリカやヨーロッパが中心で、アジアでの事例は多くありません。

本シンポジウムを通じて、世界中からアントレプレナーシップに関する研究者がアジアに集い議論を共にする機会を創出することで、アジアにおけるアントレプレナーシップ教育がどのように進化しているかを探り、将来に向けた重要な課題を特定することを目的としています。

さらに、世界中の研究者や教育者とのネットワーク形成を促進し、将来的な協力関係を確立するためのプラットフォームとして機能することも目的としています。これにより、アントレプレナーシップ教育における主要な課題と進歩についての経験を共有し、アジアにおけるアントレプレナーシップ研究・教育の更なる発展を目指します。

🎯 **テーマ** 教室を超えて:アントレプレナーシップ教育の実社会へのインパクト

🎯 **開催概要** 日時:2024年9月21日(土)10:00~18:40 会場:九州大学医学部 百年講堂  
参加者60名:日本、アメリカ、デンマーク、シンガポール、オランダ、インド、中国、韓国、オーストラリアなど

🎯 **スケジュール**

午前セッション

**メインホール** 【開会挨拶】 Prof. Megumi Takata, Director of QREC  
【基調講演1】 トピック: TEACHING PHILOSOPHIES FOR ENTREPRENEURSHIP EDUCATION  
スピーカー: Dr. Michael Breum Ramsgaard, Associate Professor, VIA University College

メインホール

セッション1

テーマ: **Entrepreneurship Education and Practice**

進行役: Dr. Doan Winkel

メンバー:

- ・Prof. Megumi Takata
- ・Dr. Michael Breum Ramsgaard
- ・Prof. Kosuke Kaneko

【プレゼンテーション1】

EFFECT OF CAUSATION AND EFFECTUATION VS. CAUSATION ONLY IN ENTREPRENEURSHIP EDUCATION  
発表者: Khin Sandar Thein (Hiroshima University)

【プレゼンテーション2】

DEVELOPING A GENERATIVE AI-DRIVEN PROGRAM TO ENHANCE IDEATION IN ENTREPRENEURSHIP EDUCATION  
発表者: Rintaro Chujo (The University of Tokyo)  
Katsufumi Matsui (The University of Tokyo)

【プレゼンテーション3】

Purpose-Driven Business Model Design Methodology  
発表者: Poh Kam Wong (National University of Singapore)

会議室1

セッション2

テーマ: **Psychology of Entrepreneurship**

進行役: Dr. Norris Krueger

メンバー:

- ・Dr. Marilyn A. Uy
- ・Dr. Gabi Kaffka
- ・Prof. Shingo Igarashi
- ・Prof. Yuka Watanabe

【プレゼンテーション1】

HOW DID THE PANDEMIC CHANGE THE ENTREPRENEURIAL INTENTIONS OF JAPANESE UNIVERSITY STUDENTS?  
発表者: Shuhei Matsumoto (Kyoto University)

【プレゼンテーション2】

FOSTERING ENTREPRENEURIAL INTENTION AMONG YOUNG ADULTS: FOCUSING ON THE DIFFERENTIAL IMPACTS OF HUMAN CAPITAL ON ENTREPRENEURIAL SELF-EFFICACY  
発表者: Kyounghee Chu (Chosun University)  
Soyeon Kim (Gakushuin University)

【プレゼンテーション3】

EXAMINING INDIVIDUAL TRAITS THAT CONTRIBUTE TO ENTREPRENEURIAL BEHAVIOR: FOCUSING ON CHARACTER STRENGTHS, ADHD, AND HSP  
発表者: Kana Matsuishi (Kumamoto University)



午後セッション

メインホール

【基調講演2】

トピック: Using AI to Bridge The Classroom and the Real World  
スピーカー: Dr. Doan Winkel, Associate Professor, John Carroll University

メインホール

セッション3

テーマ: **Optimizing Entrepreneurial Learning**

進行役: Dr. Marilyn A. Uy

メンバー:

- ・Dr. Gabi Kaffka
- ・Prof. Shingo Igarashi
- ・Prof. Megumi Takata

【プレゼンテーション4】

OPTIMAL FRAMEWORKS FOR ENTREPRENEURSHIP EDUCATION PROGRAMS FOR SUCCESS BEYOND THE CLASSROOM  
発表者: Graham Fellows (Queensland University of Technology -QUT)

【プレゼンテーション5】

Exploring the potential of "Formative Fieldwork" as a method for understanding/cultivating learning for entrepreneurial approach.  
発表者: Chikako Toma (Kyushu University)

メインホール

【基調講演3】

トピック: Navigating the Entrepreneurial Heart and Mind: Psychological Processes in New Venture Creation and Development  
スピーカー: Dr. Marilyn A. Uy, Associate Professor, Nanyang Technological University

【閉会挨拶】

スピーカー: Dr. Norris Krueger, QREC

会議室1

セッション4

テーマ: **Entrepreneurship Education: Regional Challenges and Opportunities**

進行役: Dr. Michael Breum Ramsgaard

メンバー:

- ・Dr. Norris Krueger
- ・Prof. Kosuke Kaneko
- ・Prof. Yuka Watanabe

【プレゼンテーション4】

WOMEN ENTREPRENEURSHIP IN SOUTH AND EAST ASIA: CHALLENGES AND OPPORTUNITIES OF ENTREPRENEURSHIP EDUCATION TO WOMEN IN REAL WORLD SITUATION  
発表者: Aarti Chopra (Poornima University, India)

【プレゼンテーション5】

INTEGRATING AI WITH DESIGN THINKING: TRANSFORMING ENTREPRENEURSHIP EDUCATION AND ENHANCING CREATIVE PROCESSES  
発表者: Goi Hoe Chin (NUCB Business School)  
Baptisa Jose (Kenja K.K.)

【パネルディスカッション】

Beyond the Classroom: Real World - Impacts of Entrepreneurship Education  
・Dr. Doan Winkel, Associate Professor, John Carroll University  
・Dr. Marilyn A. Uy, Associate Professor, Nanyang Technological University  
・Dr. Michael Breum Ramsgaard, Associate Professor, VIA University College  
・Dr. Gabi Kaffka, Researcher, Utrecht University  
コーディネーター: Dr. Kosuke Kaneko, Associate Professor, QREC

【閉会挨拶】

Prof. Shingo Igarashi, Deputy Director of QREC

Faculty Development (FD) Program開催

テーマ: アントレプレナーシップ教育におけるAIの活用法

日時: 2024年9月22日(日) 会場: JR博多シティ

【基調講演】 Doan Winkel博士 (John Carroll University)





QRECコア教員

ORGANIZATION 1

ORGANIZATION



教授  
高田 仁

ロバート・ファン/  
アントレプレナーシップ・センター  
センター長  
経済学研究院 産業マネジメント部門  
●専門分野  
産学連携マネジメント、技術経営(MOT)、  
アントレプレナーシップ

[ 担当科目 ]  
ビジネスにおける競争優位性(特論)/  
起業価値評価(特論)/  
価値創造演習(特論)



教授  
五十嵐 伸吾

ロバート・ファン/  
アントレプレナーシップ・センター  
副センター長  
学術研究・産学官連携本部  
知財・ベンチャー創出グループ  
●専門分野  
アントレプレナーシップ、経営戦略論

[ 担当科目 ]  
アントレプレナーシップ入門/アイデア・ラボ I/  
Global Seminar(English)/  
技術系アントレプレナーシップ(特論)/  
QRECインターンシップ/  
リーンスタートアップ演習/  
Entrepreneurial Intention/  
価値創造演習(特論)



教授  
原田 裕一

学術研究・産学官連携本部  
産学官連携推進グループ  
●専門分野  
ナノサイエンス、ナノテクノロジー、  
イノベーション教育、  
オープンイノベーション、  
グローバル産学連携

[ 担当科目 ]  
Advanced Lecture in  
Research Skills Development  
(English)(実用研究技能特論)/  
イノベーション・マネジメント/  
実践データサイエンス入門



教授  
平井 康之

芸術工学研究院  
デザインストラテジー専攻

●専門分野  
インクルーシブデザイン、デザイン思考、  
生活空間デザイン

[ 担当科目 ]  
デザイン思考演習/  
グローバルPBLプログラム/  
リーンスタートアップ演習



教授  
小城 武彦

経済学府 産業マネジメント専攻

●専門分野  
経営学

[ 担当科目 ]  
工業倫理



准教授  
金子 晃介

学術研究・産学官連携本部  
知財・ベンチャー創出グループ

●専門分野  
情報科学、教育工学

[ 担当科目 ]  
デジタル工作入門/デジタル工作応用/  
企業と創るアイデアソン・ハッカソン演習/  
テクノロジー・マーケティング・ゲーム/  
キャリアのための自己探求学



助教  
渡邊 由佳

ロバート・ファン/  
アントレプレナーシップ・センター  
学術研究員

●専門分野  
アントレプレナーシップ

[ 担当科目 ]  
アントレプレナーシップ・キャリアデザイン/  
テクノロジー・マーケティング・ゲーム/  
Technology Marketing Game (English)



助教  
ネルグイ エンフザヤ

ロバート・ファン/  
アントレプレナーシップ・センター  
学術研究員

●専門分野  
アントレプレナーシップ

[ 担当科目 ]  
アントレプレナーシップ・マーケティング基礎/  
アントレプレナーシップ・戦略論基礎





QREC講師陣(非常勤)

ORGANIZATION 3



教授 黒木 正樹

立命館大学 経営学部経営学科  
[ 担当科目 ]  
アントレプレナーシップ・組織論応用



准教授 飛田 努

福岡大学  
[ 担当科目 ]  
アントレプレナーシップ・会計/ファイナンス基礎  
アントレプレナーシップ・組織論基礎



客員教授 平野 健二

株式会社サンキュードラッグ 代表取締役社長  
Segment of One & Only 株式会社 代表取締役  
[ 担当科目 ]  
アントレプレナーシップ・マーケティング応用



客員准教授 原口 唯

株式会社YOUI 代表取締役  
[ 担当科目 ]  
アイデア・ラボII



客員教授 杉本 将隆

株式会社電通コンサルティング  
専務執行役員 シニアパートナー  
[ 担当科目 ]  
ニュービジネス・クリエーション/  
コーポレート・アントレプレナーシップ(特論)



平田 一茂

株式会社ジコウ 代表取締役  
[ 担当科目 ]  
キャリアのための自己探求学



客員教授 ノリス・F・クルーガー

カウフマン財団ESHIPイニシアチブ  
ESHIPゴールチャンピオン 専門家  
[ 担当科目 ]  
Entrepreneurial Intention



客員准教授 北川 裕憲

スローガン株式会社 取締役副社長  
公認会計士・税理士  
[ 担当科目 ]  
ベンチャー・ファイナンス

(2025年3月現在)



2024年度QREC外部アドバイザー会議委員

ORGANIZATION 4

ロバート・ファン 博士 (Dr. Robert T. Huang) シネックス・コーポレーション創業者、前会長 九州大学 名誉博士	伊佐山 元氏 WiL, LLC General Partner & CEO
リチャード・B・ダッシャー 博士 (Dr. Richard B. Dasher) スタンフォード大学 教授 アジア・米国技術経営研究センター 所長	貫 正義氏 九州電力株式会社 相談役
徳田 和嘉子氏 ゆこゆこホールディングス株式会社 元代表取締役	石丸 修平氏 福岡地域戦略推進協議会 事務局長
鍵本 忠尚氏 株式会社ヘリオス 代表執行役社長CEO	山田 仁一郎氏 京都大学経営管理・教育部 教授
諸藤 周平氏 REAPRAグループ Founder & CEO	

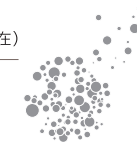


2024年度QREC運営委員会委員

ORGANIZATION 5

高田 仁 QRECセンター長/教授 (経済学産業マネジメント専攻教授)	赤司 浩一 医学系学府 学府長
竹熊 尚夫 人間環境学研究院 院長	野瀬 健 基幹教育院 院長
山本 元司 工学府 学府長	五十嵐 伸吾 QREC副センター長 (学術研究・産学官連携本部 知財・ベンチャー創出グループ)
尾本 章 芸術工学府 学府長	大西 晋嗣 学術研究・産学官連携本部 本部長補佐
横尾 真 システム情報科学府 研究院長	目代 武史 経済学産業マネジメント 専攻長

(2025年3月現在)





S.I.P 学生の  
独創的活動支援・統計

STUDENT  
INITIATIVE  
PROGRAMS



## S.I.P Student Initiative Programs

QRECでは、単位取得可能な授業とは別に、もう一つの柱として、学生の皆さんに実践の場を提供するプログラムを展開しています。学部や専攻、個人・グループ等に関わりなく、九大学生に広くプロジェクトを公募し、採択されれば、QRECの支援の下で、自らのアイデアや計画の実現に向けて活動していくことができます。

- 九創会
- アクセラレーション・プログラム
- チャレンジ&クリエイション(C&C)
- 九大祭起業体験プログラム(QSHOP)
- アントレプレナーシップ・キャリアデザイン
- アイデア・バトル(IB)
- アカデミックチャレンジ(AC)
- グローバル・チャレンジ&クリエイション(G.C&C)
- ジャンプ・アウト・チャレンジ(J.O.C)



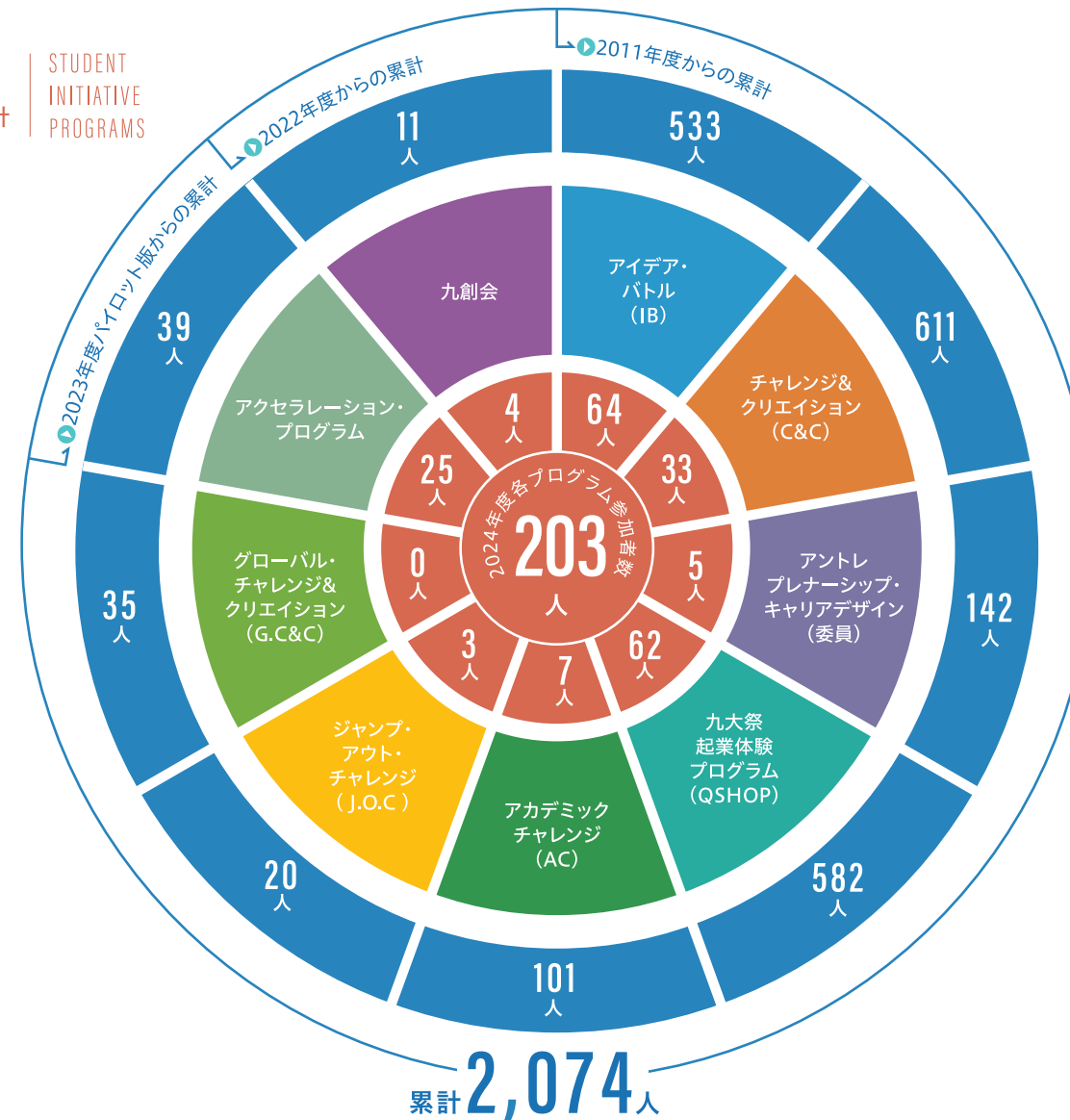
プログラムについては、上図のような系統で繋がっていくことを想定しています。

(アントレプレナーシップをもってビジネス・起業等の系統へ)



S.I.P 学生の  
独創的活動支援・統計

STUDENT  
INITIATIVE  
PROGRAMS







学生の独創的活動支援・実績

STUDENT INITIATIVE PROGRAMS



各プロジェクトは、QRECが提供するプログラムに段階を追ってチャレンジすることで、格段にレベルアップし、受賞や起業へと繋がっています！

[ 国際技術コンテスト「TECO Green Tech Contest」に参加 ]

<p>2013 2014</p> <p>チャレンジ&amp;クリエイション(C&amp;C)</p> <p>自由テーマ</p> <p>風向変動を再現できる新型回転風洞技術の実用化</p> <p>2013年,2014年 最優秀賞を受賞!</p>	<p>2014 2015</p> <p>グローバル・チャレンジ&amp;クリエイション(G.C&amp;C)</p> <p>The Minimization of effect from wind direction fluctuation on wind turbines</p> <p>風力発電機に対する風向変動の影響の最小化</p> <p>2015年 最高技術賞受賞!</p>	
<p>2015</p> <p>チャレンジ&amp;クリエイション(C&amp;C)</p> <p>自由テーマ</p> <p>次世代風力開発プロジェクト</p> <p>2015年 最優秀賞を受賞!</p>	<p>2016</p> <p>グローバル・チャレンジ&amp;クリエイション(G.C&amp;C)</p> <p>自由テーマ</p> <p>次世代風力開発プロジェクト</p> <p>2016年 銀賞(準優勝)受賞!</p>	

QREC 起業 第1号!




<p>2016</p> <p>チャレンジ&amp;クリエイション(C&amp;C)</p> <p>自由テーマ</p> <p>九大ジビエプロジェクト</p> <p>2016年 最優秀賞を受賞!</p>		
---	--	---



<p>2017</p> <p>チャレンジ&amp;クリエイション(C&amp;C)</p> <p>自由テーマ</p> <p>Deep Learningによる病理画像診断ソフトの開発プロジェクト</p> <p>●アメリカ「Live Sharks Tank®」で優勝! ●アメリカ・シリコンバレー「Asian Night」で準優勝!</p>		
--	--	---

起業部 起業 第1号!



<p>2014</p> <p>チャレンジ&amp;クリエイション(C&amp;C)</p> <p>自由テーマ</p> <p>ハイブリッドロケット製作と学生高度記録更新</p> 	<p>2015</p> <p>チャレンジ&amp;クリエイション(C&amp;C)</p> <p>自由テーマ</p> <p>ハイブリッドロケット製作と学生高度記録更新</p> <p>2015年 優秀賞!</p>	<p>2016 2017</p> <p>チャレンジ&amp;クリエイション(C&amp;C)</p> <p>自由テーマ</p> <p>学生によるロケットエンジンの開発</p>	<p>2018</p> <p>チャレンジ&amp;クリエイション(C&amp;C)</p> <p>CanSat教室の開講</p>	<p>2021</p> <p>チャレンジ&amp;クリエイション(C&amp;C)</p> <p>自由テーマ</p> <p>スペースバルーンプロジェクト</p> <p>2021年 最優秀賞!</p>	<p>●学生団体 PLANET-Qとして 継続活動中</p>
---	---	---	--	---	--------------------------------

<p>2018</p> <p>学生サークル 九州大学プログラミングサークル「GLEAP」発足</p> <p>「世界で通用するIT人材を育成する」ことをビジョンに掲げ、九州大学の学生を対象としたプログラミングスキル向上のための講習会の実施や、エンジニア同士が交流・協力できるコミュニティの運営</p>	<p>2019</p> <p>QRECプレミアムメンバーズ認定</p> <p>GLEAP</p>	<p>2023</p> <p>GLEAP株式会社設立</p> <p>最先端のAI技術を活用したソフトウェア開発システムインテグレーション(SI)サービスを提供するIT企業少数精鋭のチームによるアジャイル開発顧客の細かな要望に迅速かつ柔軟に対応最適なソリューションを提供</p>	<p>●学生団体「GLEAP」として 継続活動中</p> <p>●大学発ベンチャーとなる、「GLEAP株式会社」として活動中</p>
---	--	--	--

<p>2019</p> <p>チャレンジ&amp;クリエイション(C&amp;C)</p> <p>事業構想</p> <p>海上における海難救助要請デバイスと最高率救助システムの開発・販売</p> <p>2019年優秀賞!</p>		<p>2019年度起業</p> <p>yobimori</p> <p>2022年度社名変更</p> <p>海難事故から大切な命とその家族を守る漁師の助け合い救助サービス</p>
--	---	--




2020 チャレンジ& クリエイション(C&C) 自由テーマ  
大腸菌を用いた自律式リン回収デバイスの作成  
2020年 最優秀賞!

2021 チャレンジ& クリエイション(C&C) 自由テーマ  
Alternative to canary  
2021年 最優秀賞!

2022 チャレンジ& クリエイション(C&C) Bio Gas  
2022年 優秀賞!

●International Genetically Engineered Machine Competition 2020 Silver medal  
●International Genetically Engineered Machine Competition 2021 Silver medal  
●International Genetically Engineered Machine Competition 2022 Silver medal

学外コンテスト




学生団体 Gene Rate として継続活動中

2022 九創会 一期生  
社会課題の分野: 医療制度改革

2025 QUASAR&STRIPES株式会社  
「100年先も人が人を想える医療環境の未来を創造する」—その実現に向け、AIなどを活用した次世代医療教育を伴走型で開発・提供し、現場の変化にシナヤカに対応できる人材育成を支援します

2025年2月起業



2023 チャレンジ& クリエイション(C&C) BIONATURE(ビオナチュア)  
2023年 優秀賞!




2024年度起業

ORARE Co.,Ltd.  
赤ちゃんから大人まで使える  
100%ナチュラルスキンケアを製造販売

株式会社イマーゴ 執行役員 iQ Lab 共同代表  
iQ Lab  
■テレポート株式会社 取締役 Co-Founder


2023 九創会 二期生  
社会課題の分野: 学費の実質無料化プロジェクト

●社会実装に向けた仕込みが完了し、現在は運用フェーズへ  
●次のテーマとして、生成AIスタートアップに着手

スケールアップに向けた課題認識


2023 QRECアクセラレーション・プログラムパイロット版  
盆栽特化型のエレガントな自動水やり機

2023 福岡未踏的人材発掘・育成コンソーシアム BonsaloT  
~盆栽特化型の育成サポートシステム~  
[コンテスト]—  
【Maker Faire Kyoto2024】にてダブル受賞  
・Young Maker Award Supportter's Choice  
・Young Maker Award Staff's Choice




九州大学初 採択

IPA独立行政法人 情報処理推進機構 「未踏アドバンス事業」  
盆栽のデジタルツイン化と 樹形美の科学



盆栽のカタチの美を科学する【BONSAIENCE】として継続活動中

2023 チャレンジ& クリエイション(C&C) 地球超低軌道衛星の実現に向けたプラズマ推進器の技術開発  
2023年 最優秀賞!



九創会 二期生  
社会課題の分野: 宇宙産業の拠点創出

2024 チャレンジ& クリエイション(C&C) 地球超低軌道衛星への需要調査およびシステム設計最適化  
2024年 最優秀賞!

PARKSスタートアップ 創出プログラム 採択  
マイクロ波電熱スラスタによる革新的地球超低軌道利用の実現

社会実装に向けて継続活動中


2023 URBANIX株式会社  
「都市を、創造の舞台に。」をビジョンに掲げ、国内外の都市の再開発・地域再生・不動産活用に関わる調査・企画・プロデュース・実装支援を行う都市デザイン・戦略会社

スケールアップに向けた課題認識

2024 九創会 三期生  
社会課題の分野: 都市不動産テック

社会実装への展開

2024 チャレンジ& クリエイション(C&C) コエメモ  
2024年 優秀賞!



2024 QRECアクセラレーション・プログラム 2025春(QSAP02) コエメモ

社会実装に向けて継続活動中

AIで看護師の情報共有を効率化し、労働負担と病院の残業コストの軽減を目指すプロジェクト



# STUDENT INITIATIVE PROGRAMS 1

## アイデア・バトル [IB]



あなたの独創的でイノベティブ(革新的)な発想を世界へ!!

アイデア・バトルは、学生が温めている独創的で荒削りなアイデアを潜在的なニーズや競合技術、知的財産権の事前調査を行うことやメンターからのアドバイスを受けることで、より現実的なプロジェクト提案を可能にするプロジェクトです。



2024年度のテーマと採択件数は次のとおりです。

テーマ区分	件数
情報通信技術ICT(Webビジネスを含む)	7
グリーンテック(環境技術)	1
ビッグデータ(統計解析)	0
Base Of Pyramid(BOP)	0
アグリバイオ/ヘルスケア	3
その他	8

### 1st Battle

応募:20件 採択:11件

### 2nd Battle

応募:13件 採択:8件

●審査会  
2024年5月25日(土)

●成果報告会  
2024年8月8日(木)

●審査会  
2024年10月20日(日)

●成果報告会  
2025年2月14日(金)



- 経済学部 4名
- 理学部 1名
- 工学部 6名
- 芸術工学部 4名
- 農学部 9名
- 共創学部 21名
- 法学部 1名
- 経済学府 2名
- 人間環境学府 1名
- システム生命科学府 1名
- 工学府 9名
- 芸術工学府 1名
- システム情報科学府 1名
- 生物資源環境科学府 1名
- 統合新領域学府 1名
- マス・フォア・イノベーション連携学府 1名



# STUDENT INITIATIVE PROGRAMS 2

## チャレンジ&クリエイション [C&C]



九州大学基金の助成を受け、一年間かけて推進していく全学プロジェクト

チャレンジ&クリエイション(C&C)は、「キャンパスから挑戦と創造の風を起こそう」をテーマにかかげ、九州大学の学生のユニークなアイデアや研究プロジェクトの実現を助成する全学事業です。

1997年にスタート後、毎年実施、九州大学の独自性を示す象徴的な教育プロジェクトとなっています。

2024年度は、応募総数29件の中から、8件のプロジェクトが採択されました。

採択プロジェクト (2025年3月時点)

プロジェクト名	代表者名	学府・学部	学年
(最優秀賞) 地球超低軌道衛星への需要調査およびシステム設計最適化	小澤 翼	工学府	D1
(優秀賞) 九大芸能事務所	藤原 涼	法学部	B4
(優秀賞) コエメモ	林 春希	経済学部	B3
九大生限定!0円貸し借り	真部 将太郎	工学部	B4
環境に配慮した新素材「菌糸」を利用した休憩所の製作	齋藤 巧	工学部	B4
LLMを活用した統合型チャットツールの開発	吉野 弘毅	システム情報科学府	D3
HAPSの実現に向けた複合材料の特性を活用した翼の空力性能向上と飛行実証	西浦 大成	工学部	B3
「社会課題解決ゲームPlanet!!」の開発	柳 鷹	統合新領域学府	M1

外部審査員

古賀マネージメント総研株式会社	代表取締役	古賀 光雄 氏
株式会社西日本新聞社	報道センター記者	仲山 美葵 氏
株式会社まちのわ	代表取締役社長	入戸野 真弓 氏
福岡市経済観光文化局創業支援課	創業支援係長	野下 由樹 氏

(2025年3月時点)



### 年間スケジュール

- 応募者審査会/2024年5月18日(土)
- 中間報告会/2024年11月2日(土)
- 成果報告会/2025年2月21日(金)
- 受賞者表彰式/2025年3月28日(金)  
@九州大学 椎木講堂 特別応接室



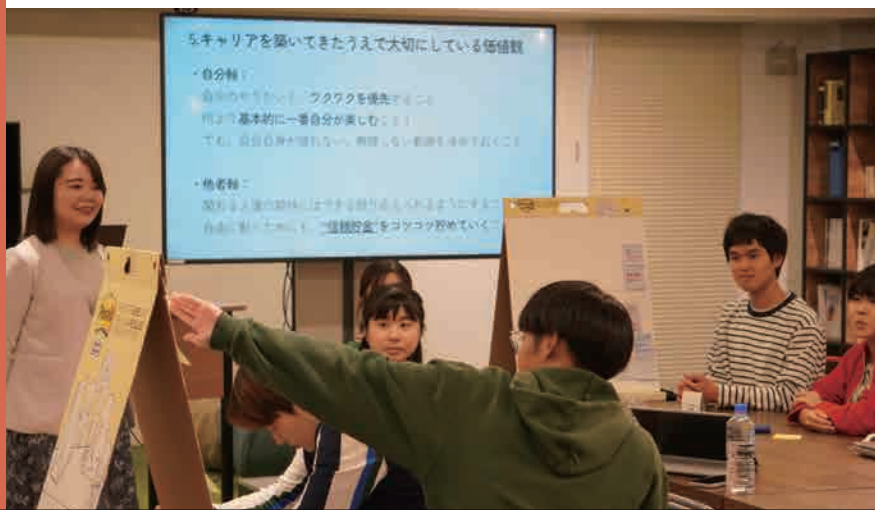
- 教育学部 1名
- 法学部 2名
- 経済学部 5名
- 理学部 1名
- 工学部 15名
- 人間環境学府 3名
- 工学府 3名
- システム情報科学府 1名
- 生物資源環境科学府 1名
- 統合新領域学府 1名



STUDENT  
INITIATIVE  
PROGRAMS 3アントレプレナーシップ・  
キャリアデザイン文理融合型の  
起業家育成プログラム

『アントレプレナーシップ・キャリアデザイン』は、各界の第一線で活躍する方々を九州大学に招き、直にその言葉を聴き、質疑応答で意見を交わすことを通じて「アントレプレナーシップ」を体感する、オムニバス形式のゲストレクチャー型授業です。

テーマ決め、招へい講師の選定、交渉、講義当日の構成等に関する企画・運営を学生委員が主体となって行います。



開講時期：秋学期 水曜日4・5限(2コマ連続)

🎯 テーマ：「キャリアデザイン」で「私」を学ぼう。～他者を通じた、未知なる自分の捉え方～

📅 年間スケジュール [4-5月] ● 実行委員立ち上げ → [5-9月] ● テーマ決め ● ゲスト講師との打ち合わせ ● ポスター作成 → [10-11月] ● ゲスト講師による各テーマ別講義

[ 2024年度実施状況 ]

(2024年11月時点)

日 程	ゲスト講師
第1回 10/2	株式会社KMJ(KonMari Media Inc.) 代表取締役 川原 卓巳 氏
第2回 10/9	タンスのゲン株式会社 取締役副社長 工藤 直也 氏
第3回 10/16	NPO法人数学カフェ 理事 才津 葵 氏
第4回 10/23	and roots株式会社 代表 江口 修一 氏
第5回 10/30	株式会社エフベンチャーズ 代表パートナー 両角 将太 氏
第6回 11/13	株式会社GLEAP CEO 比嘉 恵一朗 氏
第7回 11/20	折り紙アーティスト 岡本 健太郎 氏
第8回 11/27	株式会社HIROTSUバイオサイエンス 代表取締役 広津 崇亮 氏

👥 学生委員：5名



● 文学部	2名
● 法学部	2名
● 経済学部	2名
● 理学部	1名
● 工学部	1名
● 農学部	3名
● 共創学部	3名
● システム情報科学府	1名
● 生物資源環境科学府	1名

STUDENT  
INITIATIVE  
PROGRAMS 4九大祭  
起業体験プログラム  
[QSHOP]

九大祭を通じて、  
会社経営の基礎を学び、  
実際の会社運営を  
体験していくプログラム

九大祭起業体験プログラム(QSHOP)は、九大祭を通して起業・経営、会社設立のプロセスを学ぶプログラムです。

2011年度から開始したプログラムで実際に現金を使い起業の流れを実体験するもので、プロジェクト・ベースド・ラーニング(PBL)のひとつとして位置づけています。

[担当教員] 金子 晃介 准教授



2024年度は、5チームが出店し、総勢62名が参加しました。

株式会社 O.E.C.(大石ゼミ)	はしまきの販売
Siam Squeeze	糸島の農家さん協力の元、糸島フルーツを使用したフルーツジュースの販売
Non Guilty Product	添加物・乳製品・白砂糖・人工甘味料・グルテン・精製塩の6つをフリー！生おからケーキの販売
株式会社Beat Works(QBSチーム)	Day1 アニソン、Day2 青春ソングのDJイベント
株式会社バグズイート	昆虫寿司の販売

📅 スケジュール

[4月] ● 参加者申込締切

[5月] ● ルール説明会

[8月] ● 商品・サービス試作

[9月] ● ビジネスプラン発表・株価交渉 ● 会社設立・登記

[11月] ● 九大祭

[1月] ● 会計監査 ● 株主総会 ● 表彰・会社清算

2024年度は、ROE(Return on Equity、自己資本利益率)を最大化したチーム『株式会社バグズイート』が優勝しました。



STUDENT  
INITIATIVE  
PROGRAMS 5アカデミックチャレンジ  
[AC]

研究助成をうけ、  
学生研究のマネジメントを  
習得するプログラム

アカデミックチャレンジ(AC)  
は、九州大学に在籍する大学院  
生を対象にした研究助成です。  
学生自らが研究計画を企画し、  
必要な資金を手当てし、実際の  
研究を行う、この一連の実践を  
通じて「研究マネジメント」を習  
得することを狙いとしています。



2024年度は、応募総数16件から7件の研究プロジェクトが採択されました。

## ● 採択プロジェクト

申請テーマ	氏名	学府
"経口IgA製剤"でDysbiosisを治療する～心不全を増悪させる毒性細菌の探索	福岡 航平	薬学府
キララな「分子ルビー」発光を示す近赤外発光性クロム錯体群の創製と応用	古田 龍嗣	工学府
時間栄養学的アプローチによるがん治療法の構築を目指した基礎研究	山内 智暁	薬学府
第3のポケットに着目したP2X4阻害機構の解明とサブタイプ選択的創薬への応用	塩見 敏生	薬学府
精神疾患の病態理解を目的とした、遠隔記憶の想起基盤の解明	佐々木 聡	システム生命科学府
C3植物にCAM光合成を導入したストレス耐性作物の作成	近藤 侑梨	生物資源環境科学府
大気圧酸素プラズマ照射による免疫細胞増殖と分化の制御機構解明	小高 沙織	総合理工学府

(2025年3月現在)

## ● 年間スケジュール

● 応募者審査会(書類審査)2024年5月14日(火) → ● 中間報告会2024年11月6日(水) → ● 成果報告会2025年2月18日(火)

STUDENT  
INITIATIVE  
PROGRAMS 6ジャンプ・アウト・  
チャレンジ[J.O.C]

学外で他流試合！  
貴方のアイデアプランを  
試してみよう！

ジャンプ・アウト・チャレ  
ンジ(J.O.C)は、九州大学  
学生に国内の学外ビジネ  
スプランコンテスト、プロ  
ジェクトコンテストへの参加  
を促すプロジェクトです。  
他流試合を経験することで  
自らの立ち位置を確認し、  
より広い視野に立ってプロ  
ジェクトを遂行する能力を  
助けます。



2024年度は、2件の応募から  
1件が採択されました。

- 採択プロジェクト  
九大芸能事務所
- 参加コンテスト  
第11回 Japan Business Design & Action Award 2024-2025

🌿 ビジネス部門(一般・社会人部門)  
中小企業賞(特別賞)受賞 🌿

STUDENT  
INITIATIVE  
PROGRAMS 7グローバル・  
チャレンジ&  
クリエイション  
[G.C&C]

グローバルな世界に  
チャレンジ！  
海外の学生と戦おう！！

グローバル・チャレンジ  
& クリエイション(G.C&C)  
は、海外の学生ビジネス  
プランコンペで外国の学生達  
と競い合う機会、アイデア  
から具体的に社会で価値を  
生むサービスや製品を生み  
出すプロセスを体験する機  
会を提供し、国際社会で通  
用する本格的なアントレ  
プレナーシップ、イノベー  
ション感覚、グローバル性  
を育成、習得することを  
目的としたプロジェクト  
です。



## アクセラレーション・プログラム



九州大学発イノベーションの促進を目的とし、大学院生とポスドク研究者の、技術アイデアを使ったプロジェクトの社会実装を高速で(=アクセラレートして)支援するプログラムです。

7週間という短期間で、プロジェクトの社会実装のPoC(=概念実証: 試作開発に入る前段階の検証)獲得を支援します。

さらに、プログラム終了後にプロジェクトの継続を望むチームに対しては、社会実装の次のステップへの接続やその他公的資金の獲得、外部資金獲得を支援します。

※学部生は、QRECの他プログラム採択者に限り、審査の上で参加が認められる場合があります。

採択プロジェクト名	代表者氏名	所属
ZeroQ	真部 将太郎	工学部
イトイドー班	松山 結生	統合新領域学府
社会課題解決ゲームPlanet!!	柳 鷹	統合新領域学府
ICE	吉野 弘毅	システム情報科学府

### ■ 8月10日(土)Session1 — キックオフ・仮説を深掘する

### ■ 8月17日(土)Session2 — 仮説検証をする

■アクセラプログラムアラムナイ他、協力学生

【盆栽IoTチーム・IPA未踏アドバンス採択者・福岡未踏採択者】

・九州大学工学府 機械専攻 博士2年 小山 賢晋さん

・熊本大学大学院 自然科学教育部情報電気工学専攻 修士2年 松岡 伸龍さん

【IPA未踏採択者・福岡未踏採択者】

・九州大学 統合新領域学府 オートモーティブサイエンス専攻 修士2年 谷澤 健太さん

### ■ 8月24日(土)Session3 — チームを強化する・ピッチに備える

■登壇者

・有限責任監査法人トーマツ 監査・保証事業本部 西日本事業部西日本アドバイザー 北島 絵梨氏

・九州大学 経済学研究院 産業マネジメント部門 講師 碓 邦生氏

・QRECアドバイザー客員准教授 / 東京大学産学協創推進本部スタートアップ推進部ディレクター 松井 克文氏

### ■ 8月29日(木)Session4 — 中間審査

■審査員

・62Complex株式会社 代表 橋本 司氏

・GLEAP株式会社 取締役・技術責任者 西村 拓氏

・FFGベンチャービジネスパートナーズ 矢野 真太郎氏

・βventure capital ベンチャーキャピタリスト 赤瀬 太郎氏

### ■ 9月14日(土)Session5 — 顧客の視点からビジネスを考える

■登壇者

・ひとつづき株式会社 代表取締役 陣内 隆巨氏

### ■ 9月23日(月・祝)Session6 — リソースを獲得する

■登壇者

・QRECアクセラプログラムBatch0採択 盆栽チーム

【東京大学100プログラム採択・東京大学SFP採択・米国SXSW参加】

・工学部 量子物理工学科 4年 塩田 恭平さん

・QRECアドバイザー客員准教授 / 東京大学産学協創推進本部スタートアップ推進部ディレクター 松井 克文氏

### ■ 9月28日(土)Session7 — 最終審査

■審査員

・株式会社 Fusic 取締役副社長 浜崎 陽一郎氏

・メドメイン株式会社 代表取締役 飯塚 統氏

・株式会社Innovation BASE九州 代表取締役 小坂 武史氏

・株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズ 取締役副社長 山口 泰久氏

### ■ 10月3日(木)Session8 — フォローアップセッション(オンライン)

(登壇順/所属は2024年9月時点)

## 2025年春【QSAP02】

採択プロジェクト名	代表者氏名	所属
歴史を刻め周船寺	塩尻 遼太	システム情報科学府
コエメモ	林 春希	経済学部
Medical Rucio	Anton Schwarz	医学系学府
イマーシブLab	相浦 航	システム情報科学府
JUDAI(ジュダイ)	清水 貴弘	工学部

### ■ 2025年2月13日(木) — プレセッション(オンライン)

### 2月17日(月)Session1 — キックオフ・プロトタイプ作成

(プロト開発合宿1日目)

■登壇者

【東京大学100プログラム採択・東京大学SFP採択・米国SXSW参加】

・工学部 量子物理工学科 4年 塩田 恭平さん

### ■ 2月18日(火)Session2 — 仮説検証をする・潜在顧客インタビュー

(プロト開発合宿2日目)

■登壇者

・QRECアドバイザー客員准教授 / 東京大学産学協創推進本部スタートアップ推進部ディレクター 松井 克文氏

・株式会社DubGuild 代表取締役社長 大嶽 匡俊氏

### ■ 2月20日(木)Session3 — 中間ピッチに備える

■登壇者

・62Complex株式会社 代表 橋本 司氏

・GLEAP株式会社 代表 比嘉 恵一朗氏

・GLEAP株式会社 取締役・技術責任者 西村 拓氏

・株式会社Actra 代表取締役 竹内 啓人氏

### ■ 3月6日(木)Session5 — 顧客の視点からビジネス化を考える

■登壇者

・ひとつづき株式会社 代表取締役 陣内 隆巨氏

### ■ 3月13日(木)Session6 — リソースを獲得する

■登壇者

・QRECアクセラプログラムBatch0採択 盆栽チーム / 九州大学工学府 機械専攻 博士2年 小山 賢晋さん

・工学部 航空宇宙工学専攻 博士1年 小澤 翼さん

### ■ 3月20日(木・祝)Session7 — 最終審査

■審査員

・株式会社 Fusic 取締役副社長 浜崎 陽一郎氏

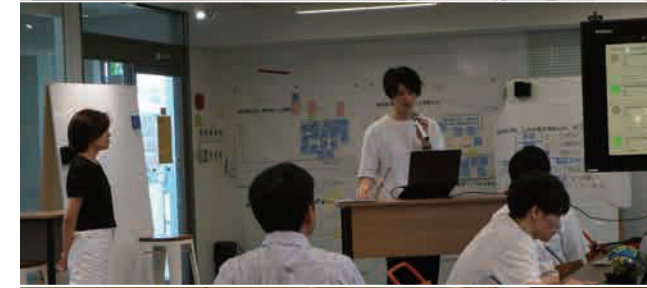
・九州大学 学術研究・産学官連携本部 教授 古橋 寛史氏

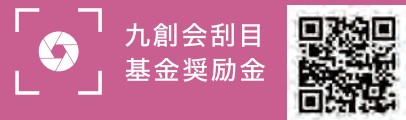
・九州大学 学術研究・産学官連携本部 教授 原田 裕一

・九州大学 大学院経済学研究院 産業マネジメント部門 教授 高田 仁

### ■ 3月27日(木)Session8 — フォローアップセッション(オンライン)

(登壇順/所属は2025年3月時点)





## 九創会刮目 基金奨励金

### 概要

明確な起業課題を持つ学生を選定し、重点的に長期的に支援。

### ■ 支援内容：

- 事業立上げ準備資金として助成金の支援、100万円～250万円を年2回、10月、1月に分けて支給。
- アラムナイ起業家および教員によるメンタリング。
- コミュニティ形成による相互学習機会提供と長期的な支援。

### 九創会について

九創会は、九州大学医学部出身で、株式会社ヘリオスを創業した鍵本忠尚社長から九州大学ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター(QREC)へのご寄附を契機に設立。九州大学を卒業した創業者たちの組織で、これからの日本を支える人材育成のサポートを目的とした組織。

10年の歳月をかけてアントレプレナーシップ教育をリードするモデル的存在となった九州大学のQRECを礎に、事業を創造し経営の実験を経験した九州大学の先輩が後輩学生に寄り添いサポート。九州大学からのイノベーション創出促進を図る目的として設立。

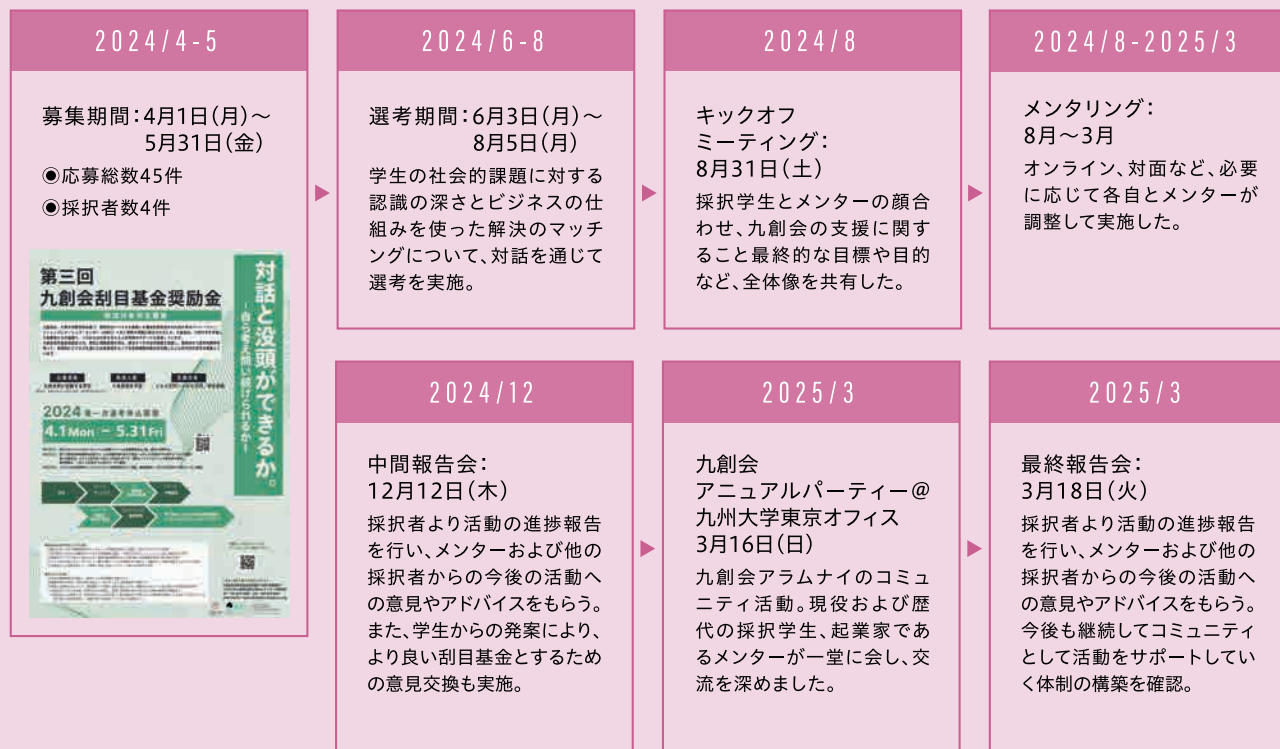
### 奨励金の 助成対象 となる 学生像

- (1) 現状に対して深い問題意識を持ち、そのことを多様な視点から没頭して考えることのできる学生
- (2) 未だ解決に至らない本質的かつ大きな社会課題を認識し、「自分がなんとかしたい!」という強い意欲を持つ学生
- (3) 安易なアイデアや流行に惑わされず、建設的批判精神を持って粘り強く社会課題の解決に取り組める学生
- (4) 一人では手に負えないことに対して一緒に活動してくれる仲間を自ら見出し、協働によって解決を図ることのできる学生
- (5) 本基金による活動を通じて、人間的に成長し刮目したいという強い志向を持つ学生

### 求められる 活動

- (1) 自身の問題意識を言語化し、解決したい社会課題を定義づける
- (2) 課題の解決方法を、流行や既存の枠にとらわれず、広く自由な発想で考案する
- (3) 考案した解決方法について、仮説検証(=行動)を繰り返しながら、最終的にはビジネス化を通じて社会実装を目指す
- (4) 九創会のメンターを含め、多様な人々と対話し、賛同と具体的な協力を得ながら活動の継続性を確保する

### 2024年度実施スケジュール



### 2024年度採択者

九創会は、ただ問題を解決するだけの場ではありません。自分の価値観と向き合い、感情的・知的・社会的な深さをもって意思決定する、「四次元的な思考」を育む場所です。時には厳しく感じることもありますが、その根底には思いやりがあり、常に切磋琢磨しながら成長することができます。

私のテーマは「食の多様性に対応したサービスデザイン」でした。宗教的、環境的、健康的、あるいは個人的な理由による多様な食のニーズを尊重し、より包摂的な「食」の対話のあり方を探りたいと思っていました。困難は数え切れないほどありましたが、その度に新しい視点に出会い、知らなかった世界を学び、同じように情熱を持つ仲間と協力しながら取り組むことができました。

この環境は、私に「自分が本当に大切にしていること」を追いかける勇気と、「なぜこれをやるのか」という原点を思い出させてくれました。もう私は一人ではなく、同じ志を持つ仲間とともに、より強い信念を持って前へ進むことができます。九創会は無限の可能性を秘めています。一人ひとりが自分らしい色で輝きながら、共にあることで、虹色のように鮮やかで美しいコミュニティを創っていきましょう！



共創学部 B4  
スハイミ サブリナ



システム情報科学府 M1  
池田 悠登

九創会は挑戦の場であり、刮目の場であり、対話と没頭の場です。メンターやメンバーとの対話・議論を行いながら、自身の持っている課題と思う存分向き合い没頭することができ、自身の専門性としても人間としても成長できるあたたかい場所です。

私は計算機と電波を専門としており、実際に社会で利用される技術を開発してみたい、それを実現まで行って行きたいと考えて九創会に応募しました。採択後に電波を用いた新規ハードウェアの開発やソフトウェア開発、先端技術の調査などに取り組みながら、周りの人と社会課題への応用の仕方を議論することができ、様々な専門性を持つメンバーとも議論を重ねる機会に恵まれました。この場所では文系・理系のような枠組みに関係無く様々な専門性の仲間と議論し、時には切磋琢磨しながら自分のやりたいことに形を与えることができます。四期生のご応募お待ちしております！

私の職業は、起業家です。世の中にまだ答えのない問題に対して、解決策を創造する仕事です。起業家の成功に法則はあるのか。起業家に絶対の成功法則は存在しません。ただ、事を成した起業家に共通点はあると考えます。それは、「自分との深い対話を行なっている」ということです。世の中を見渡すと、問題は山のようにあります。しかし、「その問題は、自分が生涯を賭けて解決すべきなのか。」この問いに対して、宿命をもって、「Yes!」と答えることができるかどうか。

そのためには、自分と対話し、理解して受容する。そして、仲間と対話し、世界のことを知る。九創会は、「問い」を立ててくれる場所です。

九創会への参加を通じて、これまで一人で思考していた時には見えてこなかった問いや可能性に気づかされました。多様な背景を持つ仲間たちと真剣に語り合い、互いの原体験や価値観に触れることで、自分が本当に大切にしたいことや、なぜそのテーマに取り組んでいるのかを改めて見つめ直す機会になりました。事業内容についても、「そもそも本当に自分がやりたいことなのか」「今の進め方が本当にビジネスを大きくする上で最適なのか」とシンプルで本質的な問いを繰り返しメンターの皆さんや仲間から受ける中で、起業家としての見方や考え方が大きく改善されました。このプログラムは、自分自身の内面的な成長と起業家としてのスキルや知識の双方をアップデートすることができるとても意義のある場で、多くの九大生におすすめしたいです。今後もこの経験を礎に、事業を更に成長させていき、九大発の起業家として世界に伍する存在になれるよう、頑張ります！



(2025年3月現在)



経済学部 B4  
草林 大翔



人間環境学府 D3  
岩淵 文和

### QRECプレミアムメンバーズ認定制度

QRECが公認する学生クラブの認定制度「QRECプレミアムメンバーズ」。学生が主体的に継続している活動を支援するものです。



#### QRECプレミアムメンバーズの種類



タイプ1 | プリームス | C&Cの最優秀賞獲得者並みで、自主的な活動への認定。認定期間3年間。

QUSIS(九大起業部)	九州大学 PLANET-Q	GLEAP	九州大学 ロボコンチーム KURT
Kyushu Bioinformatics Community	Gene Rate	九州大学鳥人間チーム	九州大学 ヒューマノイドプロジェクト



タイプ2 | スペルズ | C&Cの採択者等、積極的にメンタリング等を実施。認定期間1年間。



タイプ3 | プライマリ | アイデア・バトルの採択者あるいは学生の自主的申請に伴うもの。認定期間は、プロジェクト申請期間内(最長1年間)。

九州大学 ロボット技術研究会	Hult Prize 2025 @九州大学運営チーム
-------------------	-------------------------------



メンバーの声

こんにちは! プログラミングサークルGLEAPです。  
 私たちは、社会で活躍できるIT人材を目指して、日々プログラミングを中心とした活動に取り組んでいます。現在、QRECプレミアムメンバーズとして、BasEやToPといった開発施設を活用させていただいています。これらの施設にはホワイトボードやモニターなどが完備されており、集中して開発したり、ミーティングを行ったりするのにとても良い環境です。特に、開発のためにいつでも使える施設があるというのは大学内では本当に貴重で、非常に助かっております。  
 また、助成金を活用してIoT機器を購入することもでき、活動の幅を広げるうえで大きな支援となっています。費用面でも多くのご支援をいただき、心より感謝しております。

工学部 電気情報工学科 学部2年 玉眞 勇輝さん



(2025年3月現在)

### FACILITIES



伊都キャンパス センター5号館 7階



伊都キャンパス センター6号館 2階



学生の自由な発想で創造する。

QRECで提供しているチャレンジ&クリエイション(C&C)やアカデミックチャレンジ(AC)といった学生の独創的活動支援 Student Initiative Programs(S.I.P)のプロジェクトに採択された九州大学の在学学生、プレミアムメンバーズ、九創会などが、自由にミーティングや交流に利用できるスペースを提供しています。

2022年度から、毎週金曜日に、BasEを誰でも自由に利用できる、「QRECオープンハウス」を開始しました。講義やプログラム等の相談や仲間探しなど、多くの学生が集まり、ツナガル場となればと思います。

講演会やワークショップなど、多彩なイベントも開催し、学生のスキルアップやネットワークの拡大のための環境を整えています。



伊都キャンパス センター5号館 7階

学生がデジタル工作機器を利用してプロトタイプ等を作成するためのスペース。

QREC工房 | 工作機器一例



3Dプリンタ (AFINIA3D)



レーザー加工機 (trotec)

九州大学 伊都キャンパス

7F **TOP**・QREC工房

センター6号館  
2F **BasE**

ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター

## 寄附者さまからの メッセージ



● 諸藤 周平 様  
REAPRAグループ CEO

1977年生まれ。九州大学経済学部卒業。

エス・エム・エスの創業者、社長として同社の東証一部上場、アジア展開などを牽引し、退任。2015年にREAPRAをシンガポールにて創業。アジアを中心に世代を跨ぐ社会課題を解決する産業の創造に向けた学習支援を行う。9世代先を見据えた豊かな社会づくりを試行錯誤する一般財団法人雲孫財団も運営する。

皆さんはこれまで沢山勉強して九州大学に入学されたと思います。引き続き勉強も大切かと思いますが、これから社会に出ていくにあたっては、勉強というインプットだけではなく、世の中にアウトプットすることもぜひ試していただきたいと思います。学生生活を通して起業精神を発揮し未来の社会を切り拓くことを心から期待しています！

社会で活躍されている方々や企業の皆様も学生のアントレプレナーシップの旅への支援をいただくと学生も非常に心強いかと思います！



● 鍵本 忠尚 様  
株式会社ヘリオス 取締役 兼 代表執行役社長CEO

九州大学病院にて眼科医として勤務の後2005年、1社目の大学発バイオベンチャーを起業。

2011年2月、再生医療の実用化を目指し当社設立。2012年2月、当社代表に就任。

2015年6月、東証マザーズ上場。

難治性疾患に苦しむ患者さんへ治癒と希望を届ける、という初心の実現に向け、再生・細胞医薬品という新たな産業創生に取り組む。

日本は太平の世に寝ぼけ過ぎた。技術植民地主義が世界を覆う今、ディープテックで闘える起業家なくして、この国に未来はない。

九創会は、九大から世界を揺るがす起業家を生み出す起爆装置である。刮目せよ。そして行動を起こせ。

若き起業家たちよ、時代の流れは自ら創るものであり、流されるものではない。心せよ。



## ご支援者芳名

QRECの活動にご参同くださり、ご支援いただきました皆様に、心から感謝申し上げます。



### ロバート・ファン・Eセンター 教育研究基金

● ロバート・ファン 様

### 諸藤周平基金

● 諸藤 周平 様

### 九創会刮目基金

● 鍵本 忠尚 様

P48参照

## ●九州大学基金「学生の自主的アントレプレナーシップ活動支援(通称S.I.P)」事業

学生自身の社会に対する問題(もしくは課題)意識に基づいた「こんなこと、やりたい!」を支援するものです。学生の皆さんが、自らの学部・学府で学んだ知識を生かして、より実践的な場でアイデアをカタチにする機会をQRECが提供しています。

● 森 賢一 様	1991年	工学部	卒業生
● 兒島 聖司 様			学生保護者
● 柳町 武志 様	1995年	工学部	卒業生
● 松田 貴光 様	1995年	工学部	卒業生
● 酒匂 雅仁 様	2015年	法学部	卒業生

## ●九州大学基金「次世代アントレプレナー育成基金」事業

次世代のアントレプレナー育成のため、先進的かつ体系的な教育を推進していくために支援するものです。社会のあらゆる分野において新たな価値創造に積極的に挑戦するリーダー人材を育成するために必要な、アントレプレナーシップ関連の教育を全学に対して提供しています。

● 久保田 哲也 様		農学研究院・森林環境科学・院	名誉教授
● 山元 和浩 様	1984年	経済学部	卒業生
● 國信 健一郎 様	2007年	薬学府/研究科	卒業生